

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	05	みやまえ太鼓ミーティング開催事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		佐々木	65355	

事業の概要

事業の概要	地域の魅力である文化・伝統の再認識と民俗芸能等を活用した地域コミュニティの促進を目的に、区内の太鼓演奏団体を一堂に会した「響け！みやまえ太鼓ミーティング」を継続開催します。								
	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費					
実施期間	平成12年度	—							
地域の課題と現状	宮前区は昼間人口が少なく、地域のつながりが希薄となっていることについて、宮前区の特徴を活かし、人と人とがつながるコミュニティを形成していくことや、円滑に地域文化・伝統を継承していくことが課題です。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,936	1,397	1,936	1,738	1,878	1,720		
	国庫支出金	0	0		0	0	0		
	市債	0	0		0	0	0		
	その他特財 一般財源	0	0		0	0	0		
	1,936	1,397	1,936	1,738	1,878	1,720			

計画 (Plan)

事業の目的	地域の魅力である文化・伝統を再認識し、民族芸能等を活用した地域コミュニティの促進に取り組みます。
今年度の事業の取組内容	●区民主体のイベントとすることで、区民や団体、地域間の交流を促進し、地域の一体感を図ります。 ●区内の中学校や保育園等にも協力してもらうことで、伝統文化の継承を促進します。 ●ゲスト出演者によるワークショップを開催し、太鼓団体のスキルアップを図ります。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	区内外12太鼓団体の参加と、保育園・中学校等の協力により、「第24回 響け！みやまえ太鼓ミーティング」を開催しました。伝統芸能の披露やプロゲストの演奏、子どもたちの太鼓体験など企画内容等の充実を図ったことにより1,500人の来場者があり十分に効果があったと考えます。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標	来場者数	目標	900	1,500	1,500	1,500	人
				実績	900	1,500	1,500		
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	区民を主体とした文化・伝統芸能、民俗芸能の保存と継承には、市民活動団体相互の交流支援や促進、情報の共有、活動場所の提供等の支援が必要となっています。				
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 令和元 年度 □ 今後実施(年度から)				
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	伝統文化の創造・継承として、太鼓ミーティングから発生した楽曲「なつの風」の継承に取り組んでいます。				
評価項目				評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか			a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	イベントへの区内中学校等の参加意欲の高さや、観覧者アンケートの回答等から、伝統文化に触れるニーズや興味は高いと考えられます。			
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか			a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	天候の状況等により来場者数は変動しますが、宮前区の夏の風物詩としてイベントが定着しており、来場者アンケートの満足度の高からすると今後も多数の来場者が見込まれると考えられます。			
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。			a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	ゲストによる公演やワークショップを取りやめることで経費の削減は可能ですが、イベント自体の魅力が薄れ、夏の風物詩としての役割が果たせなくなることが予想されます。			

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	伝統芸能に関する区内最大規模のイベントであり、宮前区の夏の風物詩として定着していることから今後も継続して開催します。また、太鼓だけではなく、区内に伝わる民俗芸能の紹介の場にもなっており、地域や近隣学校等との連携を強化しながら世代交流も図りつつ、地域文化・伝統の継承に貢献します。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	10	地域の魅力発信事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691700		まちづくり推進部地域振興課			佐々木、田邊	65355

事業の概要									
事業の概要		宮前区には歴史文化、自然、都市農業、市民活動等の魅力的な資源が数多くありますが、区民にあまり知られていないことから、隠れた地域資源の魅力に関する情報の収集・整理と、マップ作成やイベント等による効果的な情報発信を行うことで、区民の地域への関心や愛着心を深め、郷土愛の醸成につなげます。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域資源活用事業費	
		平成20年度		—					
地域の課題と現状		● 昼間人口比率の低い宮前区において、区外を日常の生活圏としている人が多く、地域をよく知らない区民が多いと考えられるため、地域の魅力を再認識し、共有してもらうことが地域づくり、まちづくりに必要となります。 ● 当事業により、区民に区の魅力を再発見してもらい、地域への関心や愛着心を深めてもらうとともに、地域づくりやまちづくりに対する参画を促すことが期待できます。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	630	610	620	588	1,926	1,879		
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
		市債	0	0	0	0	0	0	
		その他特財	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	630	610	620	588	1,926	1,879	

計画 (Plan)	
事業の目的	●地域資源を紹介するマップ等の配布や、マップを活用したウォーキングイベントの実施を通して、より深い地域資源への理解を促します。
今年度の事業の取組内容	●宮前区歴史文化調査委員会に委託し、歴史ガイドマップの改訂やウォーキングイベントを実施します。 ●宮前区まちづくり協議会に委託し、区内直売所に関する情報を掲載したマップの改訂、マップを活用したウォーキングイベントの実施、区内農業の魅力を発信するフォーラムを開催します。

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	●宮前区歴史ガイドを5年半ぶりに改訂し5,000部発行しました。また、歴史文化に係るウォーキングイベントを2回開催しました。 ●直売所ガイドマップを7年ぶりに改訂し8,000部発行しました。農家を巡るウォーキングイベントを2回開催しました。また、地域で農や食に従事する関係者を招いて農フォーラムを開催し約50人が参加しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	宮前歴史ガイドを活用したウォーキングイベントの開催	目標	2	2	2	2	回
				実績	2	2	2		
	2	活動指標	農家巡りウォーキングの開催	目標	2	2	2	2	回
				実績	2	2	2		
	3	活動指標	農フォーラムの開催	目標	1	1	1	1	回
				実績	1	1	1		
	4			目標					
実績									

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		地域への愛着を深めるために、継続した情報の収集と整理、効果的な広報等の啓発活動が必要です。		
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) 令和6 年度 ☒ 今後実施()		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		市民活動団体との協働で、宮前区内の「歴史的遺産」、「農」といった地域資源を活用した「宮前歴史ガイド」及び「農産物直売所Guide & Map」の改訂版を発行し、地域の魅力を区民に発信します。		
評価項目				評価
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている		a
	評価の理由	ウォーキングイベントは申込み後早々に定員に達するなど人気イベントとなっており、区内の歴史文化や都市農業等への関心、ニーズは高いと考えられます。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない		a
	評価の理由	募集の都度、毎回希望超過になるほどウォーキングイベントへの市民ニーズは高く、また、実施後の参加者アンケートの評価も高いことから、活動の成果が上がっていると考えられます。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある		b
	評価の理由	事業実施に際し、行政とボランティアで構成される市民活動団体との役割分担などについては、より適切な協働のあり方について、必要な見直しを検討していきます		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	宮前区の魅力を再発見し、地域への関心や愛着心を深め、シビックプライドの醸成につなげるためには、引き続き、必要な見直し・改善を図りながら事業を継続して実施していくことが必要と考えます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	25	宮前区スポーツ推進事業			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		藤塚	65360	

事業の概要

事業の概要		健康を維持するために、区内スポーツ施設、川崎市または宮前区にゆかりのあるトップアスリートを活用し、スポーツ等を気軽に親しむ環境づくりをします。また、地域に根ざした総合型地域スポーツクラブへの理解と協力を促します。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域資源活用事業	
		—		—					
地域の課題と現状		区内スポーツ施設数が十分とはいえない中、区民のスポーツや健康づくりの継続が課題です。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,370	2,363	2,370	2,337	2,387	2,394		
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0	0	0		
	その他特財	425	408	402	431	408	396		
財源内訳	一般財源	1,945	1,955	1,968	1,906	1,979	1,998		

計画 (Plan)

事業の目的	宮前区内のスポーツ施設等を活用し、子ども達の体力向上、高齢者の健康づくりやコミュニケーションの場としてより多くの区民がスポーツ・バラスports等に親しみ、関心が高まる環境を作ることを目的とします。
今年度の事業の取組内容	フロンタウンさぎぬまとの連携事業、ふれあいスポーツ事業を実施します。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った									
取組内容の実績等	・フロンタウンさぎぬま連携事業は、4メニューを実施し、計1,091人が参加しました。また、新たに実施したメニューを含め、生涯スポーツの普及・振興及び運動機会の提供に繋げることができました。 ・宮前ふれあいスポーツ事業は、区内の公園緑地を活用し、モルック・ラウンドネットなどのパークスポーツ体験、ポッチャ・パラ卓球などのバラスports体験などを実施し、計500名が参加しました。										
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	成果指標	フロンタウンさぎぬま連携事業			目標	900	900	900	900	人
						実績	741	908	1091		
	2	活動指標	宮前ふれあいスポーツ事業			目標	150	150	150	150	人
						実績	108	600	500		
	3					目標					
						実績					
	4					目標					
						実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		・フロンタウンさぎぬま連携事業は、毎年新規メニューを導入するなど、手法を変えて、様々なスポーツに触れ合う機会の拡充に努めています。 ・宮前ふれあいスポーツ事業は、区内の貴重な資源である公園緑地を活用した事業展開を行いました。								
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) 年度 ☐ 今後実施(年度から)								
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載										
評価項目										
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか						a. 薄れていない b. 薄れている		a	
	評価の理由		スポーツを行う機会を提供できており、事業のニーズは高いと考えられます。							
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか						a. 上がっている b. 上がっていない		a	
	評価の理由		生涯スポーツの普及・振興等に寄与していると考えられるため、一定の成果があったと考えられます。							
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。						a. 可能性はない b. 可能性はある		a	
	評価の理由		両者それぞれの特性を活かせるよう連携を進めています。							

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	フロンタウンさぎぬま、総合型地域スポーツクラブと連携を図りながら事業を継続することが適切であると考えられます。また、多くの人がスポーツに触れ合う機会を創出するため、引き続き、様々な手法を活用し事業実施していくことが望ましいと考えられます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	30	地域情報発信事業			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691650		まちづくり推進部企画課			高見	65121

事業の概要										
事業の概要		地域への愛着や関心を高めるため、地域のイベントや伝統行事、様々な地域資源についての情報を発信するとともに、「宮前兄妹」(2012年度誕生)など区の魅力をアピールするイメージキャラクターの貸出やグッズ作成等を行います。さらに、ガイドマップを発行し、区内の主要施設・防災拠点等の基礎情報の周知と共に、区の魅力発信を行います。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域資源活用事業		
		—		—						
地域の課題と現状		地域社会における住民相互の関係が希薄化する中、住民が地域に関心を持ち、自ら参加していくためには、さまざまなメディアの活用による効果的な情報発信が必要です。イベントや伝統行事など地域で行われている活動や、区が実施している取組は数多くありますが、それを知る手段が少なく、区民会議においてこの課題について議論・提案が行われた経過があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	3,290	2,544	2,056	1,328	1,909	1,584			
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
		市債	0	0	0	0	0	0		
		その他特財	264	264	264	264	264	264		
		一般財源	3,026	2,280	1,792	1,064	1,645	1,320		

計画 (Plan)	
事業の目的	地域資源を掘り起こし、その魅力を発信することで、区民の地域への愛着や関心を高め、地域活動への参加を促進し、地域コミュニティの活性化を図ります。
今年度の事業の取組内容	みやまえガイドマップの改訂、PRキャラクター(宮前兄妹・カッチちゃん)の着ぐるみ貸出等を行います。

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	地域情報の発信やみやまえガイドマップの発行など、区の魅力の効果的な情報発信に努めました。区のPRキャラクターは、地域の様々なイベントで活用され、区民に浸透しています。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1			目標					
				実績					
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		インターネットが普及し、様々な情報媒体が存在する中で、効果的な情報発信のあり方を検討して行く必要があります。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 4 年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		様々な情報媒体があるなかで、情報発信のあり方を整理し、平成27年度末で「歳時記みやまえ」を、令和4年度末に「ぐる〜とみやまえ」廃止しました。今後も、既存の刊行物等について、効果的な情報発信のあり方を検討しつつ整理します。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民一人一人が地域への愛着・関心を持つことが地域の様々な課題を解決していく糸口となることから、地域の活動や魅力的な地域資源の情報を発信する必要性は、ますます高まっています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	様々な広報媒体に積極的に区PRキャラクターを掲載することで、認知度の向上につながったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	広報媒体への広告募集・掲載を増やすことにより、さらなる歳入を得る可能性があります。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	様々な広報媒体を効果的に組み合わせて、今後も情報発信に取り組みます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
						みやまえカルタ活用事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		竹原	653585	

事業の概要

事業の概要		歴史や文化、自然等の地域資源をとりあげた、「みやまえカルタ」の活用を通して、世代間・地域間等の交流促進を図り、地域コミュニティの活性化につなげる。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域資源活用事業	
		平成22年度		令和4年度					
地域の課題と現状		都心のベッドタウンとして発展し、核家族化が進み、市外への通勤・通学者が多い宮前区では、地域への興味や愛着が薄れがちであるため、それぞれが日々暮らし過ごす地域を知ることにより、地域への関心や愛着を高めることが求められています。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	5	0	0	0	0	0		
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		市債	0	0	0	0	0		
		その他特財	0	0	0	0	0		
	一般財源	5	0	0	0	0	0		

計画 (Plan)

事業の目的	宮前区の魅力を引き出し、愛着を抱くきっかけ作りとして、「みやまえカルタ」を各地域に定着させ、区内外に誇れる宮前区の地域魅力発信のツールとするため、幅広い世代への啓発活動とカルタの販売・貸出を継続して推進していきます。
今年度の事業の取組内容	●地区カルタ、記念カルタの販売と貸出の広報活動の推進 ●区内で開催されるイベント等における販売活動やカルタ展示等による普及促進

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った								
取組内容の実績等	宮前区の魅力を引き出し、愛着を抱くきっかけ作りとして、「みやまえカルタ」を各地域に広め、区内外に誇れる宮前区の地域魅力発信のツールとなるよう、幅広い世代への啓発活動とカルタの販売(4組)・貸出(9件)を推進しました。									
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1			目標						
				実績						
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
				実績						
	4			目標						
				実績						

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		地域への愛着や関心が希薄となる傾向のある中で、区内外に誇れる資源を幅広い世代に伝えとともに、情報発信を推進するためみやまえカルタの役割は将来に渡って重要なものとなっています。					
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 令和5年度 □ 今後実施(年度から)					
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		事業経費の執行がないため、令和5年度から歳出予算を0円としました。					
評価項目						評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか					a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	幅広い世代へ宮前区の地域資源を継続して広める必要があります。					
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか					a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	カルタの販売は一定のニーズを保っており、イベント用には大型版の貸出も継続します。					
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。					a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	事業経費の執行がないため、令和5年度歳出予算の計上を0円としました。					

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	宮前区の魅力を引き出し、愛着を抱くきっかけ作りとして、「みやまえカルタ」を各地域に定着させ、区内外に誇れる宮前区の地域魅力発信のツールとするため、幅広い世代への啓発活動とカルタの販売・貸出を継続して推進します。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	06	05	40	宮前区ふるさと意識高揚アーカイブ事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691650		まちづくり推進部企画課		高見	65121	

事業の概要

事業の概要		第4期宮前区区民会議において、人とのつながりや地域への帰属意識の希薄化、市民活動の認知度向上等が課題として議論され、各世代の文化や体験、記録を共有すること等を目標に、「区誕生40周年、市制100周年に向けたアーカイブ事業の実施」が提案されました。これを踏まえ、区役所内において検討を重ね、事業化するに至りました。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域資源活用事業	
		—		—					
地域の課題と現状		様々な世代間交流の活動や社会的・文化的資産など地域資源に関する情報は、各団体等がバラバラに所有しており、包括的な収集・保存・活用は行われていません。放っておけば散逸の恐れがある地域資源の記録を世代間で保存・伝承していく必要があります。また、まちの形成史を適切に把握・保存することは、今後のまちづくりに関する取り組みを行う上でも重要であると考えます。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	120	91	90	78	175	31		
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
		市債	0	0	0	0	0	0	
		その他特財	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	120	91	90	78	175	31		

計画 (Plan)

事業の目的	世代間交流の活動等を記録し、共有することで、世代間交流に対する参加意識の醸成を図ります。また、地域資源の記録を世代間で保存・伝承していくことで、宮前区へのふるさと意識を高めます。
今年度の事業の取組内容	市制100周年のPRに合わせてアーカイブ写真が区民の目に直接触れる機会を提供します。また、引き続きアーカイブに関する各局区の動向の把握を実施します。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った									
取組内容の実績等	事業展開方法を検討し、効率的・効果的な収集・管理の実施に努めました。										
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	活動指標	区民の目に直接触れる機会の提供(展示等)			目標	1	1	1	1	回
						実績	9	1	4		
	2					目標					
						実績					
	3					目標					
						実績					
	4					目標					
						実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		市制100周年を契機に全市的な動きを考慮しながら、宮前区としての取組の方向性を検討する必要があります。									
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 27 年度 □ 今後実施(年度から)									
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		平成27年度は庁内で試行的に写真を収集し、当初、平成28年度以降は区民からの写真の収集等を検討していましたが、効率的・効果的な事業実施のため、実施手法を見直しました。									
評価項目										評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか								a. 薄れていない b. 薄れている	a	
	評価の理由		地域資源や地域活動を適切に記録し、世代間で保存・伝承していくことが求められています。								
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか								a. 上がっている b. 上がっていない	a	
	評価の理由		区ホームページ上での写真の公開のほか、市政だよりへの掲載や、区民祭、ラブみやまえ、区役所ロビーにおいてパネル展示を行いました。								
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。								a. 可能性はない b. 可能性はある	b	
	評価の理由		区ホームページ上に「みやまえデジタルミュージアム」を開設したことで、大幅なコスト負担なく、運用していくことができています。								

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	「みやまえデジタルミュージアム」やパネル展の公開資料・写真を充実させ、広く区民の目に触れる機会を提供していきます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	45	宮前区市民提案型総合情報発信事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691650		まちづくり推進部企画課			高見	65121

事業の概要

事業の概要		区における地域の文化、自然等の資源（地域資源）の価値を改めて見出すとともに、地域資源を活用して当該地域の魅力を高め、区民が愛着を持って地域資源を継承していくため、宮前区の区域内で事業活動その他の活動を行う団体と宮前区役所が協働して区の魅力を情報発信ための事業を行います。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域資源活用事業		
		令和4年度		—						
地域の課題と現状		情報受発信の媒体が多様化する中でより効果的な情報発信の方法を取り入れる必要があります。そのため、既存の枠組み・組織にとらわれることなく区民が区に関わる仕組みを構築し、広報効果の高い手段をより柔軟に取り入れることができるように提案型事業として、区民と協働して区の魅力・情報を発信する必要があります。								
予決算 （単位：千円）	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	2,449	2,387	1,730	1,719	1,692	1,677			
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
		市債	0	0	0	0	0	0		
		その他特財	0	0	0	0	0	0		
		一般財源	2,449	2,387	1,730	1,719	1,692	1,677		

計画 (Plan)	
事業の目的	区における地域の文化、自然等の資源(地域資源)の価値を改めて見出すとともに、地域資源を活用して当該地域の魅力を高め、区民が愛着を持って地域資源を継承していくことを目的とします。
今年度の事業の取組内容	区の魅力・情報を効果的に発信するため、広く提案団体を募集して、学識経験者等で組織する宮前区市民提案型協働事業審査委員会において公平に審査のうえ事業を採択し、提案団体と協働で事業を実施します。

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		審査委員会において2事業を採択し、事業実施団体がそれぞれ違った角度からアプローチを行うことで、より効果的な魅力・情報発信を行うことができました。イベント等がメディアにも取り上げられるなど、イベントを通じた情報発信の可能性を感じることができました。また、区役所事業や学校との連携や団体同士の連携により、地域での新たなつながりの創出や場所の活用のきっかけを創出することができ、事業の目的を果たせたと考えます。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標 実施事業数	目標	3	2	2	2	事業	
			実績	3	2	2			
	2		目標						
			実績						
	3		目標						
			実績						
	4		目標						
			実績						

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		区域内の活動団体等と協働した効果的な区の魅力・情報発信に対するニーズは高まっており、継続して事業を展開していく必要があります。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 5 年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		令和6年度の事業募集にあたり、事業の審査基準として「市制100周年記念事業とや全国都市緑化かわさきフェアとの連携による効果の期待」に関する視点を追加しました。	

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区域内での活動団体等による事業提案を受け、これまでとは違った角度からの広報を行うことができ、より効果的な魅力・情報発信ができたと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	事業実施数について、目標値を達成し、提案団体と協働により効果的に区の魅力を発信できたことから、一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	事業の実施状況に応じて、課題があれば随時改善を図っていくことが必要と考えます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	区における地域の文化、自然等の資源(地域資源)の価値を改めて見出すとともに、地域資源を活用して当該地域の魅力を高め、区民が愛着を持って地域資源を継承していくためには、引き続き、区域内での活動団体等と協働して事業を実施していくことが必要です。より効果的な発信となることを目指して、さらなる改善を図っていきます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	05	花と緑のあふれる住みよいまちづくり事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		佐々木、田邊	65354	

事業の概要

事業の概要	花苗支援等を通じて、緑化活動団体の活動の活発化と、団体相互の交流を推進させることにより、区民による花と緑のあふれるまちづくり(緑化活動)の促進、区内の緑化団体・公園管理団体の拡充を行います。								
	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域コミュニティ活性化事業					
実施期間	平成23年度	—							
地域の課題と現状	現在、区内の公園においては自主管理団体(緑化活動団体)が個別に活動し、また、3割の公園においては、地域による自主管理がされていない状況にあります。公園を地域コミュニティの核として活用することが求められており、地域管理の促進とネットワーク化が必要です。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,380	1,337	1,480	1,470	2,840	2,812		
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
		市債	0	0	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	1,380	1,337	1,480	1,470	2,840	2,812		

計画 (Plan)

事業の目的	区内緑化活動団体へ花苗の支援を行うとともに、緑化促進に関する講座等を開催することで、区内の緑化推進及びコミュニティの醸成を図ります。
今年度の事業の取組内容	●区内の公園・公有地内にある花壇を自主管理している緑化活動団体に花苗等を提供します。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	●区内の公園・公有地内にある花壇を自主管理している緑化活動団体に対して花苗の提供(35団体あて、9,811株)を行いました。 ●緑化活動団体との協働で東名川崎インターチェンジ前花壇の整備を春と秋の2回実施しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標	区内花壇管理団体に対する花苗支援数	目標	9,000	9,000	9,000	9,000	株
				実績	7,851	7,716	9,811		
	2	成果指標	花苗等の支援を行っている緑化活動団体数	目標	35	35	35	35	団体
				実績	34	32	35		
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	地域のつながりの希薄化や高齢化に伴い、コミュニティづくりに寄与する活動が求められています。			
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 平成30 年度 □ 今後実施(年度から)			
具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	新規花壇管理団体の育成支援について、一定期間広報した結果、これ以上の花壇作成希望者は現れない見込みであることから、新規花壇管理団体への支援を平成30年度を以って終了としました。			
評価項目				
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域で緑化活動を行う市民活動団体は、財政基盤が弱いため、自主管理を進める上でも花苗支援の必要性は高いと考えられます。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	緑化活動団体からの花苗支援のニーズは高く、花苗の提供により区内の公園等の適正管理と緑化が進み、結果として区のイメージアップにつながっています。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	事業実施に際し、行政とボランティアで構成される市民活動団体との役割分担など、より適切な協働のあり方について、必要な見直しを検討していきます		

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	令和6年度に開催された全国都市緑化かわさきフェアのレガシーを継承するためには、今後も緑化活動団体とのさらなる連携が求められていることもあり、引き続き、必要な見直し・改善を図りながら区内の公園の適正な管理と緑化促進のため、活動団体への支援を継続して実施していく必要があります。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	10	まちづくり推進事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691700		まちづくり推進部地域振興課			穴澤・田邊	65355

事業の概要

事業の概要		●「川崎市市民活動支援指針」や「宮前区区づくりプラン」に基づき、行政主導ではなく区民主体のまちづくりを推進し、市民活動団体の活動が活性化するような環境を整備する必要があります。 ●区内で活動する市民活動団体を情報面、資金面等から支援するとともに、団体間の交流や連携を促進し、地域の活性化を図ります。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業		
		平成9年度		—						
地域の課題と現状		●社会状況の変化によって地域が抱える課題も変わるため、区民自身がより主体的にその解決に向けて取り組む必要があります。 ●「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」で示された方針を踏まえて、まちづくり推進組織と行政との関わりの見直しを進める必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	3,480	3,425	3,190	3,079	2,727	2,635			
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0	0	0			
	その他特財	0	0	0	0	0	0			
一般財源	3,480	3,425	3,190	3,079	2,727	2,635				

計画 (Plan)

事業の目的	●区民主体の組織であるまちづくり協議会が市民活動の場や運営資金の提供、情報発信等の支援を実施することにより、区内市民活動団体の活動を活性化し、地域のまちづくりを推進します。
今年度の事業の取組内容	●市民活動の活性化を図るため、市民と行政とが連携・協働した事業を展開します。 ●地域に対する意識向上や魅力発見、まちづくりへの理解を深めるため、各種イベントや講座を開催します。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	●22の市民活動団体の育成を目的とした資金支援を実施しました。 ●スキルアップ研修の実施(1回)と団体間の交流の場の提供(2回)による活動の活性化等を図りました。 ●区内市民活動団体の活動発表の場として、まちづくり広場ラブリやまを11月に開催しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	活動指標	広報紙「まちづくり広場」の発行	目標	6	6	0	0	回
				実績	6	7	0		
	2	活動指標	まちづくり広場ラブリやまの開催	目標	1	1	1	1	
				実績	1	1	1		
	3	成果指標	資金支援交付団体数	目標	20	20	20	20	
				実績	24	22	22		
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		平成31年3月策定の「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」で示された方針を踏まえて、まちづくり推進組織と行政との関わりの見直しを進めています。		
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 令和 6 年度 □ 今後実施()		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		・平成31年3月に策定された「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」を踏まえて、まちづくり協議会への行政からの人的・予算的支援を見直すこととなり、令和6年度以降、まちづくり協議会は自主運営で組織を継続することとなりました。行政は組織の事務局からは離れますが、事業単位での協働は継続していきます。		

評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区内市民活動の活性化のため、市民活動団体への資金提供や交流機会の場づくりなどは今後も必要であると考えられます。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	新たな市民活動団体を支え、地域課題の解決につながる資金支援などの活動を行っています。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	事業実施に際し、行政とボランティアで構成される市民活動団体との役割分担など、適切な協働のあり方について、必要な見直しを検討していきます。		

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	Ⅰ. 現状のまま継続 Ⅱ. 見直し・改善のうえ継続 Ⅲ. 事業終了	Ⅱ	今後も区内における市民活動の活性化に向けた支援は必要であることから、引き続き、必要な見直し・改善を図りながら魅力あふれるまちづくりに向けた各種取組を推進していきます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	15	まちづくり支援事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		穴澤	65355	

事業の概要

事業の概要		区民主体の組織である宮前区まちづくり協議会の活動が効率的・効果的になるよう側面から支援します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域コミュニティ活性化推進事業				
		平成20年度	—						
地域の課題と現状		●まちづくり協議会活動の今後の継続性や、コミュニティに係る状況変化に対応した、適切なコンサルティングが求められています。 ●「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」で示された方針を踏まえて、まちづくり推進組織と行政との関わりの見直しを進める必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,717	2,717	1,991	1,991	0	0		
	財源内訳								
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0	0	0		
その他特財	0	0	0	0	0	0			
一般財源	2,717	2,717	1,991	1,991	0	0			

計画 (Plan)

事業の目的	●市民活動団体の相談対応、活動を発展させる情報、ノウハウの提供等ができる事業者にコンサルティング業務を委託することで、宮前区まちづくり協議会の活動を側面から支援します。
今年度の事業の取組内容	●平成31年3月に策定された「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」で示された方針を踏まえて、宮前区まちづくり協議会と行政との関わりを見直したことに伴い、令和5年度を持って本事業は廃止することとなりました。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
	4		目標					
			実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		平成31年3月策定の「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」で示された方針を踏まえて、まちづくり推進組織と行政との関わりを見直しを進めています。			
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 令和5 年度 □ 今後実施()			
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		●平成31年3月に策定された「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」で示された方針を踏まえて、宮前区まちづくり協議会と行政との関わりを見直したことに伴い、令和5年度を持って本事業は廃止することとなりました。			
評価項目				評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか			a. 薄れていない b. 薄れている	
	評価の理由				
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか			a. 上がっている b. 上がっていない	
	評価の理由				
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。			a. 可能性はない b. 可能性はある	
	評価の理由				

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III	

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	20	みやまえスポーツふえすていばる開催事業			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691700		まちづくり推進部地域振興課			森山	65351

事業の概要

事業の概要	●地域で行われているソフトボール、バレーボールやドッチビー等のスポーツ大会を企画し、実施することで競技レベルの向上を図るとともに、チームを越えた区民同士の親睦の場を創出します。 ●地域スポーツを促進し、区民がスポーツに触れる機会の拡充を図るために、自主的に行われているスポーツ大会を区長賞の贈呈により支援します。									
実施期間	事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域コミュニティ活性化事業				
	—		—							
地域の課題と現状		地域で支え合うまちづくりは、非常に重要ですが、区民同士が知り合いになる機会が不足しているため、スポーツを通じて、区民同士が交流できる機会を創出し、地域の活性化やコミュニティを形成していく必要があります。								
予決算 (単位:千円)	財源内訳	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	1,797	1,579	1,885	1,579	1,994	1,754		
		国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
		市債	0	0	0	0	0	0		
		その他特財	0	0	0	0	0	0		
		一般財源	1,797	1,579	1,885	1,579	1,994	1,754		

計画 (Plan)	
事業の目的	スポーツに親しみ、楽しむことは、体を動かすことによる爽快感だけでなく、健康・体力の維持増進や人と人との地域における一体感をもたらす効果を期待することができます。地域でのスポーツ大会を地域が主体的に企画・運営することで、スポーツを通して区民同士が交流を深めスポーツ等に親しむ機会をつくり、地域コミュニティの活性化を図ります。
今年度の事業の取組内容	女子バレーボール大会(宮前区・宮前地区・向丘地区)、ソフトボール大会(宮前地区・向丘地区)、ドッチビー大会(宮前区・宮前地区・向丘地区)、歩こう会(宮前地区・向丘地区)、ディスクカバーウォークみやまえ(宮前地区・向丘地区)、区長賞贈呈

実施結果（Do）								
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	台風等の影響で一部大会が中止となりましたが、各種スポーツ大会等の開催や参加チーム等へのボール等の配布を通じて、スポーツの普及啓発や競技レベルの維持・向上、地域コミュニティの活性化に繋がりました。また、区長賞を6大会に交付しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1 成果指標	全参加者	目標	600	600	600		人
			実績	623	949	910		
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
	4		目標					
			実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		新型コロナウイルス感染症が5類に引き下がったことにより、スポーツ等を通じた交流や地域コミュニティ活動が戻りつつあります。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 平成29年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		平成29年度に実施競技をフットサルからドッチビーに変更し、宮前・向丘地区大会及び区大会を実施しています。	

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域コミュニティなどの活動が戻りつつることから、各種大会のニーズは高いと思われます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	ドッチビー等の用具の配布は、各学校やチームから「今後も配布してほしい」と反響があり、今後の大会参加につながると思われます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	委託団体と協議を進め、ニーズに合わせた事業実施方法や企画内容の検討を進めます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	委託団体と連携することで各種大会を予定通り実施できた。参加者も意欲的に活動している様子が見れたため、今後も幅広い世代・地域の区民に参加してもらえるよう、開催方法等を見直ししながら、事業を継続することが必要と考えます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	25	多様な主体が参画する夏休み子どもあそびランド事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691750		まちづくり推進部生涯学習支援課			徳原	888-3911

事業の概要										
事業の概要		子どもや中高生、シニアなど多様な市民が参画する「夏休み子どもあそびランド」を開催し、あそびを通じた多世代及び多文化交流を図ります。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域コミュニティ活性化事業			
		—		—						
地域の課題と現状		多様化する地域課題の解決に向けて世代間交流や多文化交流の場を提供することにより、多様な市民による活性化した地域コミュニティを創造する必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	546	294	569	518	577	551			
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
		市債	0	0	0	0	0	0		
		その他特財	0	0	0	0	0	0		
		一般財源	546	294	569	518	577	551		

計画 (Plan)	
事業の目的	幼児・小学生・中学生・高校生・大学生・成人・高齢者といった多様な市民同士が交流する場を、あそびを通じて提供することを目的としています。
今年度の事業の取組内容	市民館全館及び市民広場を使用し「夏休み子どもあそびランド」を開催し、様々なあそびや非日常空間である大ホールを使用してのあそび体験などを通じて、多様な市民の交流を行います。

実施結果（Do）								
上記取組内容に対する達成度	2	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	・8月17日(土)、18日(日)に開催を予定していましたが、台風に伴い8月18日(日)のみの実施となりましたが、来場者は3800人と過去最大となり盛況な実施となりました。 ・市民館会議室等では工作やバルーンアート、外国人市民による各国のゲーム体験など、大ホールでは青少年科学館職員による出張プラネタリウムなどを開催しました。各ブースは地域の達人(大人ボランティア)により運営され、そこにサポーター(学生ボランティア)がお手伝いとして参加して、来場者の親子と遊び体験を通じて多世代間交流を図りました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1 成果指標	来場者数	目標	1,000	1,500	1,500	1,500	人
			実績	980	3,000	3800		
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
	4		目標					
			実績					

評価 (Check)					
事業を取り巻く 社会環境の変化		地域におけるつながりづくりが求められており、幅広い年代の企画委員への参加や、子どもたちに多彩な遊びを提供し、継承できる新たな若い世代の遊びの達人の発掘、育成が必要です。			
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) 5 年度 ☐ 今後実施(年度から)			
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		・当日市民館外でも、イベントを開催していることを周知するために、市民広場でのブース実施やホール入口付近での着ぐるみを使用したイベントを今年度も実施した。 ・前年度の学生サポーターとの来年度に向けた調整などを、あそびランド終了後年度中から行うことにより、様々な次年度の企画の検討や、市民館と地域学生との継続的なつながりづくりを新たに実施した。			
評価項目				評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか			a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	幅広い年代・多様な立場の市民が地域で交流することは、引き続き重要と考えます。			
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか			a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	来場者も多く、企画委員、遊びの達人及び学生ボランティアを新規に集めることで、新たな交流を生み出しています。			
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。			a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	企画運営委員会に委託する現在の方式が、区内の多様な人材の参加を得る上で望ましいと考えます。			

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	引き続き、多様な人たちの交流の機会となるよう、内容や方法を工夫しながら事業を継続します。また、交流を広げ、地域コミュニティ活性化の一助とするために、企画運営委員会や遊びの達人、サポーターの新たな人材を募集していきます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称		
款	項	目	大	中	小			
11	01	06	26	10	30	地域活動の促進に向けた人材育成及び推進体制の整備事業費		
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先
			691750		まちづくり推進部生涯学習支援課		徳原	888－3911

事業の概要										
事業の概要		地域人材の育成と活用を進めるため、宮前区地域人材育成指針に基づき、区役所各課と連携したモデル事業を行います。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域コミュニティ活性化事業費			
		—		—						
地域の課題と現状		区の事業実施に必要な人材や市民活動の担い手の確保が難しく、活動の地域への広がりが弱い状況にあることから、本事業を通じて育成した人材を実際の活動につなげ活用していく必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	124	41	129	58	125	29			
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
		市債	0	0	0	0	0	0		
		その他特財	0	0	0	0	0	0		
		一般財源	124	41	129	58	125	29		

計画 (Plan)	
事業の目的	地域課題の解決に向けて、区民が主体的に取り組めるように、地域で活動する人材を育成することを目標とします。
今年度の事業の取組内容	様々な市民が地域活動に興味を持ち、活動の一步を踏み出しやすいテーマを設定し、実践的な内容の講座を行います。

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	向丘出張所と連携し、「宮前区役所向丘出張所の今後の活用の方針」に基づき、出張所が図書館機能の充実を図り地域の居場所として立ち寄りやすい空間、明るく開放的な庁舎となることを目指していることから、「本」を通して誰もが気軽に集い、多様なつながりが育めるような人材を育成するため、「本でつながるまちづくり」を3月に連続講座として向丘出張所及びまちライブラリー@南町田グランベリーパークで開催しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標	講座実施数	目標	1	1	1	1	回
				実績	1	1	1		
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く 社会環境の変化		地域人材の担い手不足による高齢化、固定化が進んでおり、新たな人材の発掘・育成を進める必要があります。			
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 年度 ☐ 今後実施(年度から)			
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		毎年度、区役所内各課と連携し、様々な地域活動の中から事業内容を検討しています。			
評価項目					
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている		a
	評価の理由	地域活動や市民協働に向けた地域の人材育成は、継続的に取組む必要があります。			
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない		a
	評価の理由	事業趣旨に沿った内容であり、関係課が連携した取組により課題を共有し、講座により区民の地域活動への第1歩とすることができました。			
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。		a. 可能性はない b. 可能性はある		b
	評価の理由	関係課と連携し、有効な手法について引き続き検討していく必要があります。			

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	関係課と連携・協議しながら、地域活動への参加と地域の人材育成に向けて、引き続き事業を継続していきます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	35	市民活動支援拠点のネットワーク事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		田邊	65355	

事業の概要

事業の概要	市民活動拠点を中心とした地域のコミュニティづくりを推進するとともに、市民活動団体の活動支援や、団体相互の交流促進を図るため、区民活動支援コーナー等の運営支援、情報発信を行います。								
	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域コミュニティ活性化事業費					
実施期間	平成22年度	—							
地域の課題と現状	地域のコミュニティづくりを進めるにあたり、市民活動団体の活動は重要な役割を担っていますが、活動場所の確保や情報の発信、他団体との連携において、その機会や情報が不足している状況にあります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	239	237	584	389	390	389		
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0	0	0		
	その他特財 一般財源	0	0	0	0	0	0		
	239	237	584	389	390	389			

計画 (Plan)

事業の目的	市民活動拠点を中心とした地域のコミュニティづくりを推進するとともに、市民活動団体の活動支援や、団体相互の交流促進を図ります。
今年度の事業の取組内容	各支援コーナーに対し、印刷機器賃借料支出等の運営支援を行います。また、各支援コーナーの登録団体数や稼働率が感染症の影響や利用団体の高齢化等により下降していることから、市民活動拠点の情報をホームページで広報するなど、稼働率アップに向けた情報発信を行います。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	市民活動の活性化のため、各支援コーナーに対する印刷機器賃借料支出など、適正な運営支援を行いました。向丘地区区民活動支援コーナーでは、登録団体の紹介冊子の作成・配布を通じた広報支援を行いました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	成果指標 宮前区役所区民活動支援コーナー登録団体数	目標	50	50	50	50	人
			実績	49	47	47		
	2	成果指標 宮前区役所区民活動支援コーナー稼働率	目標	30	30	30	30	%
			実績	33	37	36		
	3	成果指標 向丘地区区民活動支援コーナー登録団体数	目標	40	40	40	40	団体
			実績	38	38	37		
	4		目標					
			実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	地域の課題が複雑化していくなか、市民活動の重要性が増してきていることに伴い、活動場所の確保や情報を提供する支援コーナーの必要性が増してきています。			
事業の見直し・改善内容	☐ 実施 (直近) 年度 ☐ 今後実施(年度から)			
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載				
評価項目				
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	利用団体の高齢化やコロナ禍の影響等により直近での登録団体数は減少していますが、地域活動が再開される中で、各支援コーナーの会議室、印刷機等の利用団体のニーズも徐々に戻ってくるものと考えられます。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	登録団体数は目標数を若干下回りましたが、地域活動が再開される中で、各支援コーナーの会議室、印刷機等の利用団体のニーズも徐々に戻ってくるものと考えられます。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	各支援コーナーの管理運営については区民主体で行っており、予算のほとんどが印刷機のリース代ですが、適宜、仕様の見直し(経費節減)に努めます。		

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	市民活動の活性化には、印刷機などの活動資本や会議室など場の提供は必須であるため、仕様の見直し等に努めながら今後も継続していく必要があります。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	40	みんなの道路公園事業			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			696100		宮前区役所道路公園センター			徳植	75561

事業の概要										
事業の概要		快適環境の維持向上を図ることにより、公園緑地が「地域の庭」として愛着を持って利用され続けることを目指します。 ●管理運営協議会、公園緑地、街路樹等の愛護会及び町内会自治会との協働による清掃活動 ●汚損や破損をした園名板の計画的な更新								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域コミュニティ活性化事業			
		28年度		—						
地域の課題と現状		地域に対する意識の希薄化、区民の高齢化等により協働の担い手不足が進行しており、地域コミュニティの活性化、協働の推進及び協働の担い手の育成が必要です。 区内約220公園のうち80公園程度の園名板が汚損や破損をしており、その更新が必要です。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	840	839	840	808	811	747			
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
		市債	0	0	0	0	0	0		
		その他特財	0	0	0	0	0	0		
		一般財源	840	839	840	808	811	747		

計画 (Plan)	
事業の目的	公園のイメージアップに加え、愛護精神に基づく公園の管理活動の一層の推進を図ります。
今年度の事業の取組内容	●公園の管理運営協議会、公園、街路樹等の愛護会及び町内会との協働による清掃活動。 ●汚損している園名板の更新。

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	●9月に宮崎第1公園及び宮崎第4公園の愛護会と協働で、公園清掃を実施しました。 ●汚損している園名板について、平3丁目高山公園他2か所の更新を行いました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標	区民との協働による清掃活動回数	目標	3	1	1		回
				実績	3	1	2		
	2	成果指標	樹名板の取付参加者数	目標	20	30	—	人	
				実績	19	30	—		
	3	成果指標	汚損している園名板の更新数	目標	5	5	5	基	
				実績	6	6	4		
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		地域の身近な問題解決に向けた区民参加、協働による取組及び地域への愛着の醸成が求められています。		
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 6 年度 □ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		・樹名板の取り付けについて、定期的な設置は実施せず、公園利用者や地域等から要望があった場合に、その都度設置することとしました。(令和6年度) ・園名板の更新について、園名板を取り付ける支柱が再利用できるものは、園名板のみを作成することにより経費を抑え、設置基数を目標より2基増やすことができました。(令和3年度)		
評価項目		評価		
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている		a
	評価の理由	協働の担い手不足が進行しており、地域コミュニティの活性化策の推進が必要です。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない		a
	評価の理由	協働清掃の実施により愛護団体の活動の維持及び活性化が図られました。また、区のシンボルマークを表示した園名板の更新により、公園のイメージアップが図られました。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある		a
	評価の理由	協働清掃については、職員2名のみで実施しており、人員の削減は困難です。 園名板の更新については、看板の作成のみを業務委託して設置工事は職員が行うことにより、経費を抑えています。		

改善 (Action)									
今後の事業の方向性		方向性区分			方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性			
		Ⅰ. 現状のまま継続 Ⅱ. 見直し・改善のうえ継続 Ⅲ. 事業終了			Ⅰ	今後も、地域コミュニティの核としての公園の利活用を進めるため、区民との協働による公園の清掃活動を通して、愛護活動団体の設立支援及び活性化を図ります。また、区のシンボルマークを表示した園名板の更新により、イメージ向上を図ります。			

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	45	町内会・自治会加入促進事業			
担 当			所属コード			所属名		担当者	連絡先
			691700			まちづくり推進部地域振興課		森山	65351

事業の概要										
事業の概要		●区内の町内会・自治会の加入促進活動を支援するため、町内会・自治会の役割やエリア図を掲載した「宮前区 町内会・自治会ガイドブック」を改訂・増刷し、宮前区への転入者に区民課窓口で配布します。 ●令和元年度に実施した子育て世代へのアンケート結果を踏まえて作製した、将来の地域活動の担い手である子育て世代に向けたリーフレットを地域のさまざまな活動で配布することで、町内会活動への共感を促し、加入促進につなげます（在庫がなくなり次第終了）。 ●ご近助コンシェルジュの取材記をまとめた「みやまご近助ハンドブック」を作製し、町内会・自治会の加入案内時に配布することで活動をもっと身近に感じられるよう啓発活動を進めることで、加入の促進と担い手の発掘に繋がります。								
		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業		
実施期間		平成28年度		—						
地域の課題と現状		町内会・自治会は、地域のコミュニティ形成における中心的な役割を担っており、高齢者や子どもの見守り活動、自主防災組織の設立・運営など、安心・安全なまちづくりを推進していく上で、非常に重要な役割を果たしています。一方、町内会・自治会役員の高齢化や担い手不足などが課題となっているほか、町内会・自治会への加入を負担と感じる世帯が増えるなど、市民のコミュニティに対する意識が変化してきています。								
予決算 (単位:千円)	財源内訳	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	838	385	490	239	475	160		
		国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
		市債	0	0	0	0	0	0		
		その他特財	0	0	0	0	0	0		
		一般財源	838	385	490	239	475	160		

計画（Plan）	
事業の目的	高齢者の見守りや災害時の助け合いなど地域の支えあいにより大きな役割を果たしている町内会・自治会への加入を促進し、区民が地域でつながり、心豊かに安全・安心な生活を送れるように支援します。
今年度の事業の取組内容	宮前区全町内・自治会連合会との意見交換や町内会の分会等を踏まえて「町内会・自治会ガイドブック」を改訂（増刷）し、区内への転入者に向け配布します。また、令和元年度に実施した子育て世代へのアンケート調査結果を踏まえたリーフレットを、区内で実施する多世代交流イベントなどで配布を通じて、町内会・自治会と子育て世代との接点を増やします。

実施結果（Do）										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		地域の情報を必要とする転入時のタイミングをとらえ、全ての転入者に「町内会・自治会ガイドブック」を配布することで、的確に町内会・自治会に関する情報を提供できるようにしました。子育て世代が町内会・自治会に関心を持つきっかけとなるよう、子育て世代向けのリーフレットをイベント等で配布しました。ガイドブック及びリーフレットは在庫による対応としたため、追加印刷は行わなかったものの、みやまご近助コンシェルジュの活動が一区切りとなったことから、取材記をまとめた「ご近助ハンドブック」を新たに発行し、町内会・自治会が加入案内に同タイミングで配布できる資料として活用した。子育て世代向けリーフレットにおいては、ご近助ハンドブックに役割が移行したため、令和7年度以降の発行は行わず、在庫がなくなり次第終了とする。								
数値で把握することが可能な取組		指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
		1	成果指標	町内会・自治会ガイドブックの作成	目標	10,000	10,000	10,000	10,000	部
					実績	0	15,000	0		
		2	成果指標	子育て世代向けリーフレットの作成	目標	5,000	5,000	5,000	0	部
					実績	0	0	0		
		3	成果指標	ご近助ハンドブックの作成	目標				5,000	部
					実績			5,000		
		4			目標					
					実績					

評価（Check）

事業を取り巻く社会環境の変化		少子高齢化が進む中で、地域での助け合いや子どもから高齢者を含めた多世代での支え合いは大切なものであると改めて見直されており、地域コミュニティの中核を担う町内会・自治会の重要性も増してきています。		
事業の見直し・改善内容		■ 実施（直近）令和5年度□ 今後実施（年度から）		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		令和元、2年度に子育て世代向けに実施した調査結果を基に、子育て世代の暮らしの視点から町内会・自治会の活動を紹介するリーフレットを作成し、町内会の加入促進について支援を行いました。「町内会・自治会ガイドブック」については、平成30年に町内会・自治会関係者の意見を踏まえて掲載内容を見直し、また、全転入者に配布できるよう改善しました。また、令和3年度にさらに掲載内容を見直し、宮前区ご近所情報サイト「みやまご近助さん」の情報を掲載し、インターネットに親しみのある世代に向けた情報を掲載しました。令和5年度に町内会の分会に伴い地図修正と記事全体の見直しを実施しました。令和6年度にリーフレットの役割の移行と内容の追加、更新を行ったハンドブックを作成した。		
評価項目				
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	川崎市では地域包括ケアシステムを推進しており、少子高齢化が進む中で、地域での助け合いや支え合いは大切なものであると改めて見直されてきています。		
有効性	活動結果（活動指標等）に対し事業の成果（成果指標等）は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	「町内会・自治会ガイドブック」の掲載内容を見直し、全ての転入者に配布していることで、新規加入希望がある。また、「みやまご近助さん」を通じてインターネットによる情報発信でサイトを通じて新規加入希望も増加しており、一定程度の周知が図られています。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	引き続き、町内会・自治会と連携し、効果的な啓発方法や内容などを見直しながら加入促進に努めます。		

改善（Action）			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果（Do）や評価（Check）を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	今後も町内会・自治会ガイドブックの適宜見直し、子育て世代向けリーフレットを継続的に配布していくなど、町内会・自治会加入促進に向けた支援策を検討・実施します。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	50	区民祭開催経費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691600		まちづくり推進部総務課			小関	65111

事業の概要										
事業の概要		地域や各種団体、世代間の交流促進や地域コミュニティの活性化を図るとともに、地域への関心や愛着を育んでいくため、誰もが気軽に参加できる、区民の手作りによる区民祭を開催します。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域コミュニティ活性化事業			
		昭和57年度		—						
地域の課題と現状		少子高齢化の進行、核家族や単身世帯の増加、隣近所との関係の希薄化などの課題に対し、身近な地域での助け合いや地域課題の解決に協働して取り組む必要があります。								
予決算 (単位:千円)	財源内訳	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	245	245	245	245	245	245		
		国庫支出金	0	0		0	0			
		市債	0	0		0	0			
		その他特財	0	0		0	0			
		一般財源	245	245	245	245	245	245		

計画 (Plan)	
事業の目的	区民祭の開催を通して、地域や各種団体、世代間の交流促進や地域コミュニティの活性化を図るとともに、地域への関心や愛着を育んでいきます。
今年度の事業の取組内容	区民がより親近感や達成感を感じることができる区民祭の実現に向けて、区民と区役所との協働により取り組みます。

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	区民祭の開催により、世代を超えた地域の人々の交流の場を創出しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	開催回数	目標	1	1	1	1	回
				実績	1	1	1		
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		新型コロナウイルス感染症に対する有効な拡大防止策が確立されてきました。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 令和5年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		・新型コロナウイルス対策として、例年過密になるステージ裏の人数の分散を図り、屋外ステージを設置しました。 ・新型コロナウイルス対策として、宮前平公園にも出店し、会場に集まる人を分散させるようにしました。	

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民祭への参加希望や開催日に関する事前の問合せは多く、また当日は多世代の区民が集まることから、事業のニーズは高いと考えています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区民祭後も様々な地域イベントが催され、地域コミュニティの活性化につながっていると考えています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	区民や地域団体と協働し、活気あふれる区民祭として発展させるため、これまでの課題を検証し、解決に向け取り組んでいます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	地域や各種団体と共に、世代間の交流促進や地域コミュニティの活性化のため、年1回の開催を継続していきます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称				
款	項	目	大	中	小					
58	05	30	26	10	55	みやまえご近助さん事業				
担 当			所屬コード		所屬名				担当者	連絡先
			691700		まちづくり推進部 地域振興課				島根	65351

事業の概要

事業の概要		宮前区ご近所情報サイト「みやまえご近助さん」を運営し、町内会・自治会等の地域活動情報や宮前区版地区カルテの情報を町丁ごとに整理し、幅広く発信します。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業	
		令和3年度		—					
地域の課題と現状		宮前区には豊かなコミュニティ活動及び市民活動の歴史があるものの、活動の継続発展及びコミュニティ施策の推進には、若い世代の参画が課題となっています。このため、小地域における町内会・自治会をはじめとした様々な地域の活動情報を知ってもらい、興味を持ってもらうために、定期的に情報発信するWebサイト「みやまえご近助さん」の運営保守や閲覧性を向上させるような改修を実施します。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,260	1,260	2,760	2,006	3,933	1,056		
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0	0	0		
	その他特財	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	1,260	1,260	2,760	2,006	3,933	1,056		

計画 (Plan)

事業の目的		今まであまり地域との関わりを持たなかった区民等に対し、小地域での地域活動・市民活動情報を可視化することにより活動への参加意欲の促進に取組めます。また、地域活動・市民活動に触れる機会を創出することにより、地域への愛着やゆるやかなつながりづくりを図ります。これらの取組を通し、身近な暮らしの中で安心・安全・愛着のある地域が醸成されることを目指しWebサイト「みやまえご近助さん」を運営・情報発信を行います。
今年度の事業の取組内容		事業を開始した令和2年度以降の成果や課題を踏まえ、区民の地域への興味を喚起しサイトの閲覧性の向上を図るため、区民のアクションのきっかけとなる情報の掲載などの「みやまえご近助さん」のコンテンツや構成の見直しリニューアルを行います。また、それに合わせた運用の変更も検討します。リニューアルまでは、これまでの形態を維持しつつ、情報発信を継続します。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	リニューアルに伴い、「みやまえご近助さん」サイトのコンテンツの見直しを行い、イベント情報や市民活動情報の整理を行った。町内会・自治会などから情報提供がしやすいように入力フォームを作成した。サイト開設当初はPCでの閲覧を前提としてサイトを作成していたが、現在はタブレットやスマートフォンからのアクセスが9割を占めていたことから、現状に合ったサイトデザインに変更し、閲覧性・視認性の向上につながった。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
	4		目標					
			実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		インターネット環境はサイト開設当時から変化し、当初はPCでの閲覧を前提としてサイトを作成していたが、現在はタブレットやスマートフォンからのアクセスが9割を占めるようになった。		
事業の見直し・改善内容		■ 実施（直近）令和6年度 □ 今後実施（年度から）		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		スマートフォンやタブレットからの閲覧を想定し、現状に合ったサイトデザインに変更し、閲覧性・操作性・視認性の向上につながった。		
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	コロナ禍以降、地域のつながりや地域活動への参加が少なくなる中、地域活動への関心や参加へのきっかけを作ることの必要性は高まっています。		
有効性	活動結果（活動指標等）に対し事業の成果（成果指標等）は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	このサイト独自の町内会・自治会の情報として、お祭り・イベント情報など好評を得ています。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	サイトの魅力向上を図るため、コンテンツの検討や情報提供への積極的な働きかけなど、成果の向上に向けた取組を進めています。		

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	引き続き、「宮前区への転入者」や「地域との関わりが少ない区民」「町会未加入者」向けに地域主体の情報を発信し、町内会・自治会を中心とした地域活動への理解や興味・関心の向上を図り、参加促進に繋がられるように取組を進めていきます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(〇〇区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	60	向丘出張所活用事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			693900		区民サービス部向丘出張所			奥野	75111

事業の概要

事業の概要		令和4年2月に策定した「宮前区役所向丘出張所の今後の活用に関する方針」に基づき、向丘地区の活性化に向けて、「多世代が気軽に立ち寄り、人や活動がつながる、向丘地区の核となる出張所」を目指して、地域情報の受発信を行う広報紙の発行、地域の居場所づくりに向けた環境整備等を行います。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業		
		令和5年度		—						
地域の課題と現状		活用方針に基づく各取組にあたり、市民等と連携しながら取り組むことが求められています。そのため、地域活動を後押しするための「地域情報の受発信」や、誰もが気軽に集える空間づくりを通じて、子どもからシニアまで多世代にわたる「地域の居場所」としての役割等が出張所に求められています。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費			759	434	736	637			
	財源内訳	国庫支出金			0	0	0	0		
		市債			0	0	0	0		
		その他特財			0	0	0	0		
		一般財源			759	434	736	637		

計画 (Plan)	
事業の目的	地域情報等の受発信、地域の居場所づくり等の取組を通じて、市民同士の活動や交流を促し、多様な地域活動を後押しすることで、向丘地区の活性化に寄与することを目的とします。
今年度の事業の取組内容	・情報受発信では、高齢化率の高い向丘地区においてデジタル媒体を補完する紙媒体の地域情報紙(向丘スクエア)を年3回発行します。 ・庁舎を活動・交流の場とする空間づくりに向け、備品の整備、庁舎の美化・緑化に向けた花壇の整備等を行います。

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度		2	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		・デジタル媒体での情報発信を行うとともに、同媒体を補完する紙媒体の地域情報紙(向丘スクエア)を年3回発行し(計9,000部)、多様な地域情報を収集しながら、地域の団体・イベント等に関する情報の発信を行いました。 ・イベント実施時に必要となるワイヤレスマイクやテント等の整備、地域のボランティアとの協働による花壇の整備など、庁舎の環境整備を行い、地域団体等による交流イベントの実施など、庁舎の活用を推進しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	デジタル媒体及び紙媒体での情報発信回数	目標	—	120	130	130	回
				実績	—	161	166		
	2	活動指標	出張所を地域団体等が交流イベント等に活用した回数	目標	—	36	48	48	回
				実績	—	65	75		
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		「宮前区役所向丘出張所の今後の活用に関する方針」(令和4年2月策定)に基づき、多くの地域団体やボランティアと協働して、地域情報の受発信、地域の居場所づくり等の取組が推進され、出張所の活用が進んでいます。	
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近)	☐ 今後実施()
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	向丘地区のさらなる活性化を目指す中、活動・交流の促進、地域情報の受発信の必要性は高まっています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	活動指標はいずれも目標を上回り、情報の受発信や庁舎のイベント活用を通じて、多様な地域活動を後押しし、向丘地区の活性化に寄与しています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	経費の大半を需用費(印刷製本費、消耗品費)、備品購入費が占めていますが、仕様の見直しなどにより業務効率化に努めます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	地域バランスを考慮した宮前区全体の機能向上という観点から、向丘地区の活性化と向丘出張所の一層の活用が求められています。「宮前区役所向丘出張所の今後の活用に関する方針」に基づき、地域情報等の受発信、地域の居場所づくり等の取組を継続して推進します。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	30	26	15	05	健康づくり支援事業			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			695130		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域支援課			吉川	65523

事業の概要										
事業の概要		健康づくりに関する情報や地域の健康づくりの活動の場についての情報を発信し、区民の健康づくりの実践を支援します。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域の輪・健康づくり事業		
		—		—						
地域の課題と現状		宮前区は、男性の平均寿命が82.6歳、女性の平均寿命が88.5歳と、いずれも全国や市平均に比べて高くなっています(厚生労働省「令和2(2020)年市町村別生命表の概況」)。また、区内の全高齢者に対し、介護保険で要支援以上の認定を受けている高齢者の占める割合が18.2%(令和5(2023)年4月1日現在)と、市内では麻生区に次いで2番目に低く、元気な高齢者が多いまちです。この特長を維持していくためには、高齢者に加え、若年層に対しても健康づくりの大切さを伝えていくことが必要です。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	251	191	251	241	243	152			
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
		市債	0	0	0	0	0	0		
		その他特財	0	0	0	0	0	0		
		一般財源	251	191	251	241	243	152		

計画 (Plan)	
事業の目的	要介護状態となる原因は生活習慣病が多くを占めており、若い時からの生活習慣が高齢期の健康状態に大きく影響することから若い世代を対象に、健康づくりの普及啓発を行い、意識の醸成を行うと共に、個人及び地域の健康度の向上を図ります。
今年度の事業の取組内容	「子ども・若い世代からの健康づくり、働き盛り世代の生活習慣予防」を目的に健康づくりに取り組めるように内容を改訂します。配布については、若い世代にアプローチできるように他部署や民間企業と連携し普及啓発を行います。

実施結果（Do）											
上記取組内容に対する達成度			2		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等			生活習慣病予防には働き盛り世代からの取り組みが重要と考え、若いうちから実践できる健康づくりの取り組みや生活に取り入れられる地域情報等を盛り込んだ普及啓発の冊子を6000部作成しました。今後中学校へ配布する方向で調整中です。若い世代にも親しみやすい冊子となるよう工夫し、生徒を通じて家族全体で健康づくりについて話題にすることで、親や教師に対して生活習慣病予防の大切さを普及啓発できるようにしました。								
数値で把握することが可能な取組			tiik		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
			1	活動指標	「みやまえシニアのためのいきいきマップ」の作成	目標	4,000				部
						実績	2,000				
			2	活動指標	「宮前区公園体操マップ」の作成	目標		4,000			部
						実績		4,000			
			3	活動指標	「宮前区オリジナル体操DVD」の作成	目標		30			枚
						実績		30			
			4	活動指標	「みやまえ健康サポートブック」の改訂	目標			3000		部
						実績			6000		

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		少子高齢化社会が進み、今後ますます医療費の削減や健康寿命の延伸が重要になってきます。		
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) 年度 ☒ 今後実施(令和7年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		6000部作製した冊子を中学校や企業、地区活動などで配布し、年度内にアンケートを実施。アンケートを分析し、その結果で今後の配布先や配布方法、冊子の改訂などを検討予定。		

評価項目				評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか			a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	少子高齢社会を見据え、若年層から健康づくりの大切さを伝えていく必要性が今後ますます高まると考えられます。			
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか			a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	健康づくり推進会議や中学校の養護教諭など地域の関係団体へ協力依頼した結果、学校の保健委員会などで取り上げる方向で調整が進行していることから成果は順調に上がっていると考えます。			
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。			a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	アンケートを分析し、その結果を学校や関係団体と共有した上で、冊子の改訂または配布方法の検討など改善を進めていきます。			

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	少子高齢社会が進み、今後ますます医療費の削減や健康寿命の延伸が重要になってきます。そのためには若年層から健康づくりの大切さを伝えていく必要があるため、事業の目的や方向性は維持するものの、見直し・改善のうえ継続することが適切であると考えられます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称							
款	項	目	大	中	小								
11	01	06	26	15	10	地域包括ケアシステム推進事業費							
担 当			所 属 コー ド			所 属 名			担 当 者	連 絡 先			
			695110			地域みまもり支援センター地域ケア推進課			粟野	65513			

事業の概要

事業の概要	地域住民や町内会・自治会、民生委員児童委員、保健・医療・福祉関係機関、ボランティア団体など地域内の多様な主体と連携・情報共有する協働の取組を推進するとともに、区役所内各部署間の連携も強化し、地域包括ケアシステムを推進します。								
	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域の輪・健康づくり事業費					
実施期間	平成28年度	—							
地域の課題と現状	地域包括ケアシステムの推進にあたり、区民や区役所職員・関係団体の意識づくり、連携強化が必要です。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,916	1,883	2,903	1,147	2,973	1,332		
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0	0	0		
	その他特財	0	0	0	0	0	0		
財源内訳	一般財源	2,916	1,883	2,903	1,147	2,973	1,332		

計画 (Plan)

事業の目的	地域包括ケアシステムの推進に向けて、区民や区役所職員の意識醸成と関係団体の連携強化を図ります。
今年度の事業の取組内容	地域包括ケアシステムの推進イベントの開催、地域活動団体への講師派遣、各種広報・啓発物の作成等

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	地域の集いの場におけるワークショップ等において講師派遣を実施するなど、地域包括ケアシステム推進につながる取組を実施しました。また、身近な地域活動や困った時の相談先の紹介、からだの健康チェックなどの内容を盛り込んだ地域包括ケアシステム推進イベントを他課主催の「早いうちから始める終活セミナー」に合わせて開催し、区民の地域包括ケアシステムへの意識の醸成を図りました。									
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	活動指標	地域包括ケアシステム推進に関する講演会等の開催		目標	1	1	1	1	回
					実績	1	1	1		
	2				目標					
					実績					
	3				目標					
					実績					
	4				目標					
					実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	急速な高齢化が進む中、誰もが安心して住み慣れた地域や自らが望む場で生活していくためには、地域住民や町内会・自治会、民生委員児童委員、保健・医療・福祉関係機関、ボランティア団体など地域内の多様な主体の取組とともに、主体間の緊密な連携が求められています。				
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 30 年度 □ 今後実施(年度から)				
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	行政主導でのワークショップ開催から、希望する団体へ随時講師を派遣する形に方法を見直したところ、団体のニーズに沿った内容の支援を数多く実施することができるようになりました。				
評価項目				評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか			a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民の誰もが安心して住み慣れた地域や自らが望む場で生活していくためには、今後も区内における地域包括ケアシステムの自助・互助に対する意識づくりや関係団体との連携が必要となるため、必要性は高いと考えます。			
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか			a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	地域づくりへの関心喚起・課題の共有・つながりづくりのきっかけとして、一定の成果があったと考えます。			
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。			a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	地域包括ケアシステムの普及啓発について、関係機関等と連携しながら、より効果的な手法等の検討を進めていきます。			

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	今後もより多くの関係機関や地域活動団体、区民の方々が多様な連携を進めて活動に主体的に取り組めるよう、地域情報などに基づき、地域のニーズや地域課題に対応した活動のきっかけづくりの支援に向けた啓発を強化しつつ、事業を継続することが適切であると考えられます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	15	15	しあわせを呼ぶコンサート開催事業費			
担 当			所 属 コー ド		所 属 名		担 当 者	連 絡 先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		竹原	65358	

事業の概要

事業の概要		障害者が出演するコンサートを開催を通じて、地域において交流と相互理解を深め、こころのバリアフリーや障害者の自立支援・社会参画の拡大を目指す。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域の輪・健康づくり事業			
		平成12年度		—						
地域の課題と現状		障害の有無に関わらず、すべての区民が安心して暮らし続けることができる地域づくりに向けた、交流と相互理解を深める取組の推進していく必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	2,531	30	300	1,202	2,600	2,599			
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
		市債	0	0	0	0	0	0		
		その他特財	0	0	0	0	0	0		
一般財源		2,531	30	300	1,202	2,600	2,599			

計画 (Plan)

事業の目的	障害者が出演するコンサートを開催を通じて、地域において交流と相互理解を深め、こころのバリアフリーや障害者の自立支援・社会参画の拡大を目指す。
今年度の事業の取組内容	実行委員会において企画し、第一部:宮前区内の障害者施設・作業所の利用者の方々による言語による第九の合唱、第二部:一流の演奏家によるゲストステージとして構成し、併せて、市民館ロビーにおいて各施設での手作りの食品・作品等を展示販売し活動紹介を行います。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った									
取組内容の実績等	新型コロナウイルス感染症が5類へ移行後、実行委員会において、利用者の安全を確保しながら実現可能な開催方法を検討し、1部では、5年ぶりにオーケストラの演奏による第九等の合唱、2部では、プロのソリストによるゲストステージをプログラムとした。合わせて販売や展示、講座を行った。(来場者数800人)										
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1					目標					
						実績					
	2					目標					
						実績					
	3					目標					
						実績					
	4					目標					
						実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		ノーマライゼーションの広がりの中で、区民をはじめ地域に暮らし集う方々の相互理解と交流を深め、バリアフリー社会の構築と障害者福祉の増進に向けて、音楽を愛する区民の賛同を受けて地域では定着したコンサート事業となっています。					
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 令和5年度 □ 今後実施(年度から)					
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		事業の安定的継続へ向けて、区役所・連絡会及び実行委員会による連絡調整を一層、密にするとともに、委託業務が円滑に行われるよう仕様書内容を精査しました。					
評価項目						評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか					a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由					全国的にも他に例を見ない宮前区独自の障害者福祉事業として実施してまいります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか					a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由					合唱参加者、来場者ともに安定した実績を得ています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。					a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由					事業の安定的継続へ向けて、区役所及び実行委員会による連絡調整を一層、密にしながら事業を執行してまいります。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	宮前区の障害者福祉事業として、地域に広く定着しており、区役所及び実行委員会による連絡調整を一層、密にしながら事業の安定的継続へ取り組んでまいります。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	05	子育て情報発信事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			695110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課			井上	65513

事業の概要										
事業の概要		子育て情報を冊子やWeb、SNSを利用して発信をすることで、子育て世代の孤立化や育児に対する不安の軽減を図り、区民同士が助け合い、安心して子育てができるよう支援します。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業費			
		—		—						
地域の課題と現状		出生数は減少傾向にあるものの、宮前区は0歳から14歳までの人口が多く、子育てに関する最新の情報を分かりやすく提供し、子育て世代の孤立感や育児不安を解消して、安心して子育てができる環境を整える必要があります。また、フェイスブック及びX(旧ツイッター)に加え、「みやまえ子育てガイドとことこ」冊子内に宮前区の子育て情報発信に関する電子媒体の二次元コード等を掲載するなど、様々な広報媒体の特性を活かして効果的な情報発信を行う必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	1,202	1,032	1,892	1,168	1,378	1,114			
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
		市債	0	0	0	0	0	0		
		その他特財	240	240	180	120	180	120		
		一般財源	962	792	1,712	1,048	1,198	994		

計画 (Plan)	
事業の目的	多様な広報媒体を活用することで、宮前区内の子育て世代の育児の孤立化の防止や育児不安の軽減を図ります。
今年度の事業の取組内容	みやまえ子育てガイド「とことこ」の改訂を行うとともに、Web版「とことこ」の情報整理を行い、発信情報内容の更新を行います。また、子育てに関わる内容をフェイスブック、X(旧ツイッター)等のSNSで広く発信します。

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	●子育て情報誌「みやまえ子育てガイドとことこ」の改訂及び印刷を行い、6,000部発行しました。また区役所、こども文化センター等に配布を行いました。 ●ソーシャルネットワークサービスのフェイスブック及びX(旧ツイッター)による情報発信を行いました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	冊子版みやまえ子育てガイド「とことこ」の発行	目標	7,000	6,000	6,000	0	部
				実績	7,000	6,000	6,000		
	2	成果指標	SNSによる子育て情報の発信 (フェイスブック等のフォロー数)	目標	1,430	1,450	1,500	1,500	人
				実績	1,431	1,473	1,475		
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価（Check）

事業を取り巻く 社会環境の変化		情報発信の選択肢が多岐にわたる中、より効果的に周知できる広報を検討していく必要があります。			
事業の見直し・改善内容		■ 実施（直近） R5 年度 □ 今後実施（ 年度から）			
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		子育て情報誌「みやまえ子育てガイドとことこ」を子育て当事者、子育て経験者、子育て中の外国人市民を含む公募の編集会議を立ち上げ、区民の意見を取り入れデザインや内容を改訂しました。			
評価項目					
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている		a
	評価の理由	区民の意見を反映した冊子は、子育て当事者から支援者まで幅広く活用されています。またフェイスブック等の電子媒体は、いつでも閲覧でき、時宜にかなった効果的な広報ができるため、さらなる活用の可能性があります。			
有効性	活動結果（活動指標等）に対し事業の成果（成果指標等）は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない		a
	評価の理由	子育てガイドは、子育て当事者の意見を大きく反映して改訂し、これまで以上に活用されるようになっています。またフェイスブック及びX（旧ツイッター）のフォロワー数の伸びは鈍化していますが、SNSを紹介するカードの配布等により広報することで区民の認知度は高まっています。。			
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。		a. 可能性はない b. 可能性はある		b
	評価の理由	今後も状況に応じ効率的・効果的な手法を検討し、情報発信をしていく必要があります。			

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	印刷物については、部数の適正化を図りつつ、適宜、内容の見直しを実施し、発行します。また、電子媒体については、各ツールの特性を活かしたさらなる活用を図ります。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	10	宮前区子育て支援事業			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695000		地域みまもり支援センター保育所等・地域連携担当		富永	856-3290	

事業の概要

事業の概要	公営保育所が中心となり、区内民間保育所や地域の人材、関係機関と連携し、子育て支援拠点の充実を図りながら、子育て支援事業を展開するとともに、育児力の向上と孤立化を防ぐための仲間づくりができるよう、乳幼児を持つ家庭に対し子育て支援事業や支援施設の利用促進等を図ることを目的に、子育て支援に関わるリーフレットを作成し、子育て世帯が必要とする情報提供を行う。								
	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業費					
実施期間	—	—							
地域の課題と現状	子育て家庭の転入者が多く、0～2歳児の在宅での子育ての割合が高い中、子育てに関する相談が増加していることから、育児への不安や孤立感を抱きながら子育てをしている家庭が多いことがうかがえ、在宅の子育て家庭にむけた子育て支援事業の充実を図るとともに情報提供による利用促進を図る必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	184	152	105	95	102	66		
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0	0	0		
	その他特財 一般財源	0	0	0	0	0	0		
	184	152	105	95	102	66			

計画 (Plan)

事業の目的	安心して子育てができる環境づくり、子育てを支援する体制づくり、子どもが健やかに育つ環境づくりを推進します。
今年度の事業の取組内容	地域子育て支援関係リーフレット等の作成 子育て支援情報発信 / 地域親子向け子育て支援事業実施

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	対面での地域支援事業が復活したことで、父親の子育て支援リーフレット「子育てをもっと楽しもう！～パパの子育てリーフレット」の新版は作成しませんでした。増版することで情報発信の充実を図りました。また情報発信を活用し、利用促進を図りながら子育て支援につながる各種事業を実施しました。さらに区内保育の質向上のため連絡会議や様々な研修を開催しました。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1 成果指標	区内地域子育て支援センターの利用者数	目標 48,000	54,000	44,000		人
		実績 54033	62629	51863			
	2 活動指標	SNS等での情報発信数	目標 150	200	200		回
		実績 234	237	144			
	3 成果指標	子育て支援事業参加者数(申込者数)	目標 500	900	400		人
		実績 424	490	616			
	4		目標				
		実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	地域における育児力の向上に向けた子育て家庭への支援のさらなる強化が求められています。また、区内保育所等の地域支援に対する保育の質の維持・向上などのため、研修や連絡会を通じた区内保育所等への支援が求められています。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 年度 □ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	予算管理と執行体制を見直すため、リーフレットの作成を増版対応にするなど、予算の整理を行いました。		
評価項目			
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	子育て家庭の不安感や孤立感の軽減に則した事業実施、情報発信は今後も必要であり、重要と考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	地域子育て支援センターの利用者数及び子育て支援事業参加者は一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	各種申請やアンケート等、オンラインを活用することで、事務手続きや業務改善を進めていきます。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	・子育て世代の育児の孤立化の防止や育児不安についての軽減に向け、より効果的な地域支援につなげていけるよう、子育てに関わる関係機関や施設等との連携を強化し、効果的な情報発信に取り組みます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	20	子ども包括支援事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695000		地域みまもり支援センター学校・地域連携担当		小宮	65703	

事業の概要										
事業の概要		「こどもサポート南野川」では、不登校・引きこもりなどの課題を持った子どもたちと保護者の居場所づくりや相談、生活・進路指導など、子育て支援の拠点として、原則、小学校中学年程度から18歳までの子どもとその保護者を対象とした子育て支援を行います。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業			
		平成21年度		—						
地域の課題と現状		核家族化の進行と育児不安を抱える親、不登校やひきこもり、そして社会に適応できない子どもとその保護者の増加など、子どもを取り巻く環境は大きく変化しており、課題を持つ子どもたちの居場所づくりや生活支援、相談支援など、包括的な子ども子育て支援を進めていく必要があります。								
予決算 (単位:千円)	財源内訳	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	5,382	5,387	5,606	5,600	5,438	5,438		
		国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
		市債	0	0	0	0	0	0		
		その他特財	0	0	0	0	0	0		
		一般財源	5,382	5,387	5,606	5,600	5,438	5,438		

計画 (Plan)	
事業の目的	子どもの成長に合わせたトータルサポートの実現や、課題を持つ子どもたちへのきめ細やかな対応による不登校・引きこもり状態の長期化の予防などを地域社会の課題として捉え、行政、学校、地域、関係機関が連携して問題解決を目指します。
今年度の事業の取組内容	課題を持つ子どもたちの居場所づくり、生活・学習支援を業務委託により実施します。 生活・学習支援(常時)、相談業務(常時)、運営会議(年2回)、保護者の会、進路学習会、情報交換会、見学会

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	・学校との情報交換会10回、保護者の会（進路学習会含む）3回、個別相談（随時）を実施 ・各教科の学習指導、理科教室、調理実習、進路学習 ・農作業や体験学習、ふれあい活動の実施 ・児童生徒連絡会での事業説明とリーフレット配布による周知								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	運営会議	目標	2	2	2	2	
				実績	2	2	2		
	2	活動指標	情報交換会	目標	4	4	4	4	
				実績	4	11	10		
	3	成果指標	こどもサポート南野川利用人数 （不登校支援に係る小・中・高校生等延べ利用人数）	目標	1400	1400	1400	1400	
				実績	1331	1513	1497		
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		不登校は、学校における友人関係や学業不振等のほか、本人の不安・抑うつ傾向、家庭の問題等、学校以外の要因が絡み合っており、増加傾向にあり低年齢化が進んでいます。その背景が多様・複雑であることから、児童相談所、医療機関等の関係機関と連携し、家庭の状況や本人の特性等を把握した上で、適切な支援を行う必要があります。			
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 5 年度 □ 今後実施(年度から)			
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		平成30年に所管課を地域ケア推進担当から学校・地域連携担当に変更し、学校との情報共有と連携の一層の強化を図ることで、不登校になった児童生徒へのよりきめ細やかな対応や支援を行えるようになりました。令和5年度以降、学校との情報交換を一斉開催から学校別開催に変更し、より密接に学校と連携を図り、子どもの理解が深まりました。			

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	不登校の子どもは増加傾向にあり、それぞれの子どもが抱える問題は、多様化・深刻化・低年齢化しているため、児童生徒一人一人に、きめ細かく丁寧に対応する必要があります。事業の目的や方向性を維持したまま、学校や関係機関との連携を強化しながら継続することが適切であると考えられます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	40	外遊び活動支援事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			695110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課			山本	65512

事業の概要										
事業の概要		区内の自然環境や身近な公園を利用し、子どもたちが自然と触れあう様々な機会を提供することで、自然に関心を持ち、大切にすることを育みます。また、日常と異なる体験をするなかで、参加した仲間との連帯感や、地域と身近な自然に対する慈しみの気持ちを持つきっかけづくりとします。さらに、自然を守り育てる活動など、地域に根差した活動に対する保護者等の興味を喚起させることを通じて、地域包括ケアシステムの推進につなげていきます。								
		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業費		
実施期間		—		—						
地域の課題と現状		区内で子どもたちが自由に遊べる場が減少しており、現在ある公園・緑地を「子どもたちの自由な遊びの場」として活用することが必要です。また、子どもからお年寄りまで、幅広い世代のつながりが求められている宮前区においては、「冒険遊び場」が多世代のつながりの場として機能することが見込まれます。								
予決算 (単位:千円)	財源内訳	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	659	611	794	733	705	492		
		国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
		市債	0	0	0	0	0	0		
		その他特財	0	0	0	0	0	0		
		一般財源	659	611	794	733	705	492		

計画 (Plan)	
事業の目的	子どもたちの自由な遊びの場づくりを通じ、「遊び」を中心とした多世代交流を目指します。
今年度の事業の取組内容	必要な遊具や物品の貸出、月1回のネットワーク会議の開催等の地域主体の活動支援、普及啓発のため出張冒険遊び場の開催及び広報用リーフレットの配布

実施結果（Do）														
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った										
取組内容の実績等		登録されている6団体が各公園で定期的に冒険遊び場を開催し、多世代交流の場として活動を行いました。委託内容の精査によりシンポジウムは開催しませんでした。新規遊び場団体登録に向け、宮前美しの森公園で出張冒険遊び場を開催しました。また、広報資料として作成したリーフレットを関係機関に配布するなど、普及啓発に関する活動を行いました。												
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		単位	
	1	活動指標	冒険遊び場ネットワーク会議の開催		目標		12		12		12		回	
					実績		13		12		11			
	2	活動指標	シンポジウムの開催支援		目標		1		1		1		回	
					実績		1		1		0			
	3				目標									
					実績									
	4				目標									
					実績									

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		子どもたちの成長や地域コミュニティの活性化の果たす役割など、その成果について地域住民等から一定の理解が得られていますが、多世代交流の場として、より一層の普及が求められています。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 30 年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		出張冒険遊び場を実施していた公園で、冒険遊び場の登録団体としての活動を始めました。今後も新たな公園での出張冒険遊び場開催に向けて取り組んでいきます。	

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	公園の利用活性化を促し、子どもの育ちを支援する活動に貢献しており、事業のニーズが高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	継続的な活動及び出張冒険遊び場の開催により、コミュニティの活性化にも繋がっていると考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	冒険遊び場の実績とノウハウを持つ区内の市民団体に支援事業の委託を行っており、民間事業者への委託では得られない高い効果を最低限の経費で実現していますが、普及啓発の手法等について今後も検討を進めていきます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	幅広い世代の憩いの場として公園の活用が進むなかで、子どもの自由な発想や遊びを支援できるよう必要な改善や見直しを進め、地域の理解を得ながら継続していくことが望ましいと考えられます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	45	子ども子育て支援事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			695110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課			井上	65513

事業の概要										
事業の概要		子育てを地域社会全体で支える仕組みづくりの促進に向け、地域の関係者が連携し、0歳から18歳までの子どもとその保護者の支援体制を強化します。さらに、子ども・子育てに関する問題の解決・改善および子どもの登下校時の事故・犯罪から守るための意識向上を図るために、関係団体間による会議を開催することで、相互連携やネットワークの強化を図ります。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業費			
		—		—						
地域の課題と現状		子育てで世代の転入が依然として多いうえ、宮前区が坂の多い地形であることから、子育て支援の場のアクセシビリティ向上が求められます。また、子育てに関する情報を求める声も多いことから、区内子育てグループおよび区内施設と連携し、子育て世代への情報提供を行っていくことが必要と考えられます。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	300	100	225	78	214	110			
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
		市債	0	0	0	0	0	0		
		その他特財	0	0	0	0	0	0		
		一般財源	300	100	225	78	214	110		

計画 (Plan)	
事業の目的	区内の子育て世帯や子どもたちが抱える課題等について、子育て支援の関係者と情報共有を行い、子どもの成長を地域で見守る体制の構築を目指します。また、地域内でつながりを求めている親と、区内の子育てグループ・子育て支援関係者とのマッチングを図ります。
今年度の事業の取組内容	「子ども・子育てネットワーク会議」開催による切れ目ない地域の子育て支援体制の構築、「うるかむクラス」をはじめとしたイベント開催による子育て世帯等のつながりづくりや地域の子育て情報の提供、その他会議や交流会実施による関係団体間の相互連携やネットワーク強化

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		子ども・子育てネットワーク会議及び子ども安全・安心協議会を開催し、関係機関の連携強化に向けて取組の情報共有を行いました。また、子ども・子育てネットワーク会議の実務者会議として位置づけられている宮前区子育て支援関係者連絡会においては、「うるかむクラス」「子育てグループ・サロン・赤ちゃん広場等交流会」などのイベントを実施し、子育て世代の交流の場づくりを行いました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	子ども・子育てネットワーク会議の開催	目標	2	2	2	2	回
				実績	2	2	2		
	2	活動指標	子ども安全・安心協議会の開催	目標	2	2	2	2	回
				実績	2	2	2		
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		子育て世帯の転入が多い宮前区において、子育て中の区民に対する情報提供、及び親同士・親と地域の子育て支援団体等との交流の場づくりは継続して必要であると考えられます。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 29 年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		イベントを事務局と一部の実施団体のみで担っている執行体制の見直し及び広報の見直しを実施しました。	

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	コロナ禍を経た社会状況において、地域ぐるみの子育て支援に関するニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	子育て中の区民同士の交流のみならず、区内で子育て支援の取組を実施している団体同士の交流もイベントを通じて行われており、区民全体で子育てを支援する体制の構築に向け効果的であると考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	より効率的・効果的なイベント等の実施に向け、執行体制等の見直しについて検討する必要があると考えられます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	区内各地域における子育て支援の取組状況を把握し、イベントの運営等につなげる必要があるため、各種会議等を通じて子育て支援団体とのネットワークを活用した情報共有を行いながら取組を推進することが望ましいと考えられます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称		
款	項	目	大	中	小			
11	01	06	26	25	05	安全安心まちづくり推進事業費		
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先
			690000		危機管理担当		平出	65352

事業の概要

事業の概要		●安全安心に関わる様々な分野の団体が構成される「宮前区安全・安心まちづくり推進協議会」を軸として、区民、地縁団体、事業者、行政機関などの連携・協働により、それぞれの対策を推進し、区民の暮らしやすい環境づくりに取り組みます。 ●パトロール用資機材の貸与や落書き消し用品の提供を行い、地域の活動を支援します。 ●要望の多い、通学路等における交通安全対策として、啓発看板等の掲出等を行います。 ●「神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり推進条例」や「市安全・安心まちづくり推進計画」を基に、宮前区安全・安心まちづくり推進協議会と協働し推進します。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		安全・安心・快適まちづくり事業費		
		—		—						
地域の課題と現状		地域での結びつきが希薄になっていく中、自分たちのまちは自分たちで守るという意識を浸透させ、地域内の結びつきを強くするとともに、地域での活動の推進を図り、安全で安心なまちづくりを進めていく必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	1,695	1,526	1,683	1,603	1,633	1,587			
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
		市債	0	0	0	0	0	0		
		その他特財	0	0	0	0	0	0		
		一般財源	1,695	1,526	1,683	1,603	1,633	1,587		

計画 (Plan)	
事業の目的	●区民誰もが安全で安心して暮らせるまちを形成していきます。 ●地域防犯活動を支援するため、地域の自発的な活動を支援します。
今年度の事業の取組内容	●自主防犯活動への支援 ●地域パトロールや落書き消し等の支援 ●通学路を中心とした啓発看板の掲出等による交通安全対策の推進 ●啓発看板等の維持管理 ●中学生を対象としたスクエアドストレート方式交通安全教室の実施

実施結果（Do）										
上記取組内容に対する達成度	2		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	・中学生を対象としたスクエアドストレート方式交通安全教室については、目標どおり3校で実施 ・保育園、幼稚園及び小学校における交通安全教室については、目標を超え90件実施									
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標	スクエアドストレート方式交通安全教室の実施	目標	3	3	3	3		
				実績	3	3	3			
	2	成果指標	保育園・幼稚園及び小学校における交通安全教室の実施	目標	75	75	75	75		
				実績	75	87	90			
	3			目標						
				実績						
	4			目標						
				実績						

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		社会経済活動の再開により、交通事故発生件数が増加してきており、より継続的な交通安全教育が求められています。		
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 年度 □ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		・スクエアドストレート方式の交通安全教室の開始(H27～継続中) ・GIGA端末などによるWeb会議システムの利用や、実施マニュアルの見直し等、感染症対策に配慮した交通安全教室の運営(R1～R6)		
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている		a
	評価の理由	交通安全教室の申込数は増加傾向であり、地域の安全・安心に係るニーズは高まっていると考えられます。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない		a
	評価の理由	スクエアドストレート方式交通安全教室及び保育園・幼稚園及び小学校における交通安全教室について、目標を上回って実施しており、成果があったと考えます。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある		b
	評価の理由	関係部署や団体、委託業者等と連携を行い、社会環境の変化や地域ニーズも踏まえつつ、見直し・改善を進めていきます。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	区民の安全・安心に対する関心は継続して高いことから、事業の目的や方向性は維持しつつ、見直し・改善のうえ継続することが適切であると考えられます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	25	15	防災意識普及啓発事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			690000		危機管理担当		宮本	65361	

事業の概要

事業の概要

●各種の防災意識普及啓発行動(防災フェアの実施等)を行い、区民一人ひとりに防災に関する知識を根付かせることにより、防災意識の向上を図ります。
●地域で防災活動の中心となる地域防災リーダーの育成を目的とした「防災推進員養成研修」及び養成研修を受講した防災推進員の更なる知識・能力向上を目的とした「防災推進員フォロー研修」を実施することにより、地域の防災力向上に繋げます。

実施期間

事業開始年度

事業終了年度

予算中事業

安全・安心・快適まちづくり事業費

地域の課題と現状

大規模災害発生時の被害を最小限に抑えるため、区民一人ひとりに防災に関する知識を根付かせ、防災意識を向上させる取り組みを進めていく必要があります。

予決算
(単位:千円)

年度

事業費

国庫支出金

市債

その他特財

一般財源

R04年度

R05年度

R06年度

R07年度

予算額

決算額

予算額

決算額

予算額

決算額

予算額

決算額

計画 (Plan)

事業の目的

区民一人ひとりに防災に関する知識を根付かせることにより、防災意識の向上を図ります。

今年度の事業の取組内容

地域防災リーダーの育成を目的とした「防災推進員養成研修」及び養成研修を受講した防災推進員のさらなる知識・能力向上を目的とした「防災推進員フォロー研修」を実施。さらに、地域における防災啓発イベントとして、「防災フェア」を実施。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度

3

1. 目標を大きく上回って達成
2. 目標を上回って達成
3. ほぼ目標どおり
4. 目標を下回った
5. 目標を大きく下回った

取組内容の実績等

・9月23日に防災フェアを開催
・7月6日に防災推進員養成研修、令和7年1月15日と18日に防災推進員フォロー研修を開催

数値で把握することが可能な取組

指標分類

指 標

R04年度

R05年度

R06年度

R07年度

単位

1

活動指標

イベント(宮前区防災フェア)の開催回数

目標

1

1

1

1

回

実績

2

1

1

2

活動指標

防災推進員養成研修の開催回数

目標

1

1

1

1

回

実績

1

1

1

3

活動指標

防災推進員フォロー研修の開催回数

目標

2

2

2

2

回

実績

2

2

2

4

目標

実績

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化

地域における防災意識普及啓発へのニーズは高く、継続的な啓発事業の展開が求められています。

事業の見直し・改善内容

■ 実施 (直近) 令和4年度 □ 今後実施(年度から)

具体的な見直し・改善内容
※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載

みやまえご近助ピクニックとの同時開催により、様々な主体との連携促進と多世代交流を図りました。

評価項目

評 価

必要性

事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか

a. 薄れていない
b. 薄れている

a

評価の理由

いつ起こるかわからない災害に対して、地域防災力を高めるための防災意識普及啓発行動及び地域における防災活動の中心を担う区民の育成・支援のニーズは高いと考えます。

有効性

活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか

a. 上がっている
b. 上がっていない

a

評価の理由

防災フェア及び防災推進員に係る研修を計画どおり開催し、防災に関する意識と知識の向上を図ったことにより、一定の成果があったと考えます。

効率性

事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。

a. 可能性はない
b. 可能性はある

b

評価の理由

関係部署や団体、委託業者等と協議を行い、役割分担の見直し等による改善を進めていきます。

改善 (Action)

今後の事業の方向性

方向性区分

方向性

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性

I. 現状のまま継続
II. 見直し・改善のうえ継続
III. 事業終了

II

区民の防災に対する関心が高く、引き続き地域防災力の維持・強化に向けた区民への普及啓発行動や地域人材の育成・支援の取組が必要です。事業の目的や方向性は維持しつつ、具体的な事業の計画・運用面での見直し・改善を図りながら継続していくことが適切であると考えます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	25	20	地域防災力向上事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			690000		危機管理担当		加藤	65361	

事業の概要									
事業の概要		●宮前区の防災力向上に向け、防災に関する必要な事項を検討し、情報の共有化を図るため、宮前区を管轄する公共公益機関及び関係団体等を構成員とする宮前区地域防災連絡会議における検討を進めます。所掌事項として、宮前区地域防災計画に関すること、地域防災力向上に向けた各種取組と連携に関すること及び地域防災力向上に向けた情報共有等を推進します。 ●大規模災害発生時の被害を最小限に抑える取組として、地域防災連絡会議各部会において課題や問題点の抽出と対応の検討を行い、行政の災害対応力の強化を図ります。また、中長期的な視野に立ち、各避難所に必要な備品を配備します。							
		事業開始年度 平成24年度		事業終了年度 —		予算中事業		安全・安心・快適まちづくり事業費	
地域の課題と現状		公共公益機関及び関係団体を構成員とする宮前区地域防災連絡会議において、各機関の担当が変遷するなか、取り組みや連携を維持・強化する必要があります。 避難所滞在環境改善のため、必要な備品の配備が必要であるとともに、中長期的な視野に立って耐用年数に応じた入替やメンテナンス等も考慮する必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,467	1,208	1,467	1,209	1,423	1,215		
	財源内訳								
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0	0	0		
	その他特財	0	0	0	0	0	0		
一般財源	1,467	1,208	1,467	1,209	1,423	1,215			

計画 (Plan)	
事業の目的	区内関係機関・事業者・地域団体等で構成される宮前区地域防災連絡会議及び各部会において、課題の抽出と検討を行い、地域防災力を向上します。
今年度の事業の取組内容	資器材の配置等による避難所の環境整備

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	・避難所備蓄エアマットの整備（10箇所）								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	避難所備蓄エアマット整備箇所数（全25箇所で継続）	目標	10	10	10	10	箇所
				実績	10	10	10		
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く 社会環境の変化		高齢化の進行や市民ニーズの多様化により、避難所における備蓄物品の充実が求められています。		
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 5 年度 □ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		・避難所備蓄物品の充実(充電器)(令和5年度～)		

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域防災力向上に向けて、地域住民の防災意識の高揚と行政の災害対応力強化の両面からアプローチしており、災害の激甚化により防災への関心も高く、ニーズは薄れていないと考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	地域防災力向上に向けて、地域住民の防災意識の高揚と行政の災害対応力強化の両面からアプローチしており、災害の激甚化により防災への関心も高く、ニーズは薄れていないと考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	現在進行中の避難所備蓄物品の整備に続き、将来的な事業手法と展開については、社会環境の変化や地域ニーズも踏まえつつ、見直し・改善を進めていきます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	区民の防災に対する関心が高く、引き続き地域防災力の維持・向上のための取組が必要です。事業の目的や方向性は維持しつつ、具体的な事業の計画・運用面での見直し・改善を図りながら継続していくことが適切であると考えます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	30	宮前区スポーツ環境整備事業			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		藤塚	65360	

事業の概要

事業の概要		鷺ヶ峰けやき公園多目的広場、西長沢公園多目的広場の補修を行います。							
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	安全・安心・快適まちづくり事業					
	—	—							
地域の課題と現状		屋外スポーツ施設の少ない宮前区では、より多くの区民がスポーツを楽しめる環境を整えるため、既存施設の補修・整備が必要です。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	460	2,544	1,560	1,408	2,915	2,895		
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0	0	0		
	その他特財	0	0	0	0	0	0		
財源内訳	一般財源	460	2,544	1,560	1,408	2,915	2,895		

計画 (Plan)

事業の目的	鷺ヶ峰けやき公園多目的広場、西長沢公園多目的広場で区民が快適にスポーツを行えるよう環境整備を行います。
今年度の事業の取組内容	鷺ヶ峰けやき公園多目的広場・西長沢公園多目的広場の整備を行います。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	鷺ヶ峰けやき公園及び西長沢公園の除草を行いました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1			目標					
				実績					
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		神奈川県内広域水道企業団が実施する耐震工事が令和6年上半年で終了するため、運用開始に伴う維持管理費が継続的に必要となります。					
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 年度 □ 今後実施(年度から)					
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		西長沢公園・・・ダスト舗装の実施 鷺ヶ峰けやき公園・・・防球ネットの設置、ダスト舗装の実施					
評価項目						評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか					a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	市民のスポーツの場の確保に繋がるため、本事業のニーズは高いと思われます。					
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか					a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	市民が安全にスポーツを行うことができているため、一定の成果があったと考えられます。					
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。					a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	道路公園センターへの業務移管については検討が必要と考えられます。					

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	鷺ヶ峰けやき公園多目的広場の保守については、引き続き必要と考えられます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	40	20	市制100周年記念市民広場ベンチリニューアル事業費			
担 当			所 属 コー ド		所 属 名		担 当 者	連 絡 先	
			691600		まちづくり推進部総務課		瀬越	65112	

事業の概要

事業の概要		宮前区役所の市民広場において、地域の子どもたちや地元アーティストと一緒に、既存のベンチをリニューアルして記念ベンチとして設置し、市民の憩いの場に新しい価値を創造し地域への愛着心を醸成する。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域課題対応その他事業費	
		R06年度		R06年度					
地域の課題と現状		市民広場は市民の憩いの場となっており多くの方が利用するが、ベンチは屋外に設置されているため木材のひび割れ等が発生している。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	—	—	—	—	3,500	3,472	—	—
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
	その他特財								
	一般財源					3,500	3,472		

計画 (Plan)

事業の目的	・ベンチをリニューアルすることで、市民の憩いの場に新しい価値を創造し地域への愛着心を醸成する。 ・子どもたちが地元アーティストとのアート体験を通じ将来にわたって記憶に残る経験をする。
今年度の事業の取組内容	・既存のベンチをワークショップの開催を通じてリニューアルし、記念ベンチとして設置する。 ・普段接点の無い地域のこどもたちと地元アーティストをつなげ、一緒にベンチを制作してもらう。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った										
取組内容の実績等	ベンチのリニューアルワークショップを6月2日と6月30日の2日間開催した。ワークショップを通じてベンチのデザインや装飾を行い、それぞれ約100人が参加した。また、8月17日に完成したベンチのお披露目会を実施した。											
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	活動指標	ワークショップの開催				目標			2		回
							実績			2		
	2	活動指標	ワークショップの参加者				目標		100		人	
							実績		100			
	3						目標					
							実績					
	4						目標					
実績												

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		リニューアルしたベンチを市民広場に設置し、市民広場を訪れる方に利用していただいている。					
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) 年度 ☐ 今後実施(年度から)					
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載							
評価項目						評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか					a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	ベンチをリニューアル(新調)したため、現状で改修等のニーズはないと考える。					
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか					a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	日常的な利用やイベント等で多くの方に利用していただいているため。					
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。					a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	令和6年度で終了事業であるため。					

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III	課題となっていたベンチの老朽化等については、令和6年度の事業実施により解消されたため、本事業は終了する。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	40	25	みどりのお散歩コース事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691650		まちづくり推進部企画課		高橋	65123	

事業の概要

事業の概要

これまで豊かな自然や名所など区の魅力を知ることができるお散歩コースを市民とともに作成してきました。川崎市市制100周年及び全国都市緑化かわさきフェア開催を契機に、今までのお散歩コースから、みどりを巡るコースを地域の方々と再編し、アプリ等を活用して発信します。

実施期間

事業開始年度

事業終了年度

予算中事業

地域課題対応その他事業費

R06年度

R06年度

地域の課題と現状

宮前区の魅力を再発見できるみどりが豊かなお散歩コースを歩いて、みどりを楽しみながら健康を目指すとともに、本事業が川崎市市制100周年事業であることやお散歩コースに全国都市緑化かわさきフェアのコア会場を取り入れることで、両イベントの周知を図り、機運を高めていきます。

予決算
(単位:千円)

年度

事業費

国庫支出金

市債

その他特財

一般財源

R04年度

R05年度

R06年度

R07年度

予算額

決算額

予算額

決算額

予算額

決算額

予算額

決算額

—

—

—

—

1,184

1,597

0

0

0

0

1,184

1,597

計画 (Plan)

事業の目的

日常の中で、街のみどりを楽しみながら歩くことを習慣づけ、みどりや地元に対する愛着心醸成や健康寿命・健康増進の延伸に繋がります。

今年度の事業の取組内容

お散歩マップを作成し、周知・利用促進のために特典が当たるキャンペーンを実施します。また、歩こう会と連携し、お散歩コースを市民の方と歩く企画も実施します。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度

3

1. 目標を大きく上回って達成
2. 目標を上回って達成
3. ほぼ目標どおり
4. 目標を下回った
5. 目標を大きく下回った

取組内容の実績等

お散歩コースのチェックポイントの一つである北部市場や県立東高根森林公園と連携し、北部市場の海産物や県立東高根森林公園のイベント参加券が当たるウォーキングキャンペーンを実施しました。また、宮前地区と向丘地区それぞれの歩こう会と連携し、お散歩コースを歩くウォーキングツアーを実施しました。

数値で把握することが可能な取組

指標分類

指 標

R04年度

R05年度

R06年度

R07年度

単位

1

活動指標

ウォーキングキャンペーンを実施

目標

1

回

実績

1

2

活動指標

ウォーキングツアーを実施

目標

2

回

実績

2

3

目標

実績

4

目標

実績

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化

引き続き、健康寿命・健康増進の延伸が求められています。

事業の見直し・改善内容

☐ 実施 (直近) 年度 ☐ 今後実施(年度から)

具体的な見直し・改善内容
※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載

評価項目

評価

必要性

事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか

a. 薄れていない
b. 薄れている

a

評価の理由

今後ますますの高齢化により、健康に対するニーズは薄れていないと考えられます。

有効性

活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか

a. 上がっている
b. 上がっていない

a

評価の理由

お散歩マップの配布が完了してもお問い合わせがあることから、一定の成果があったと考えられます。

効率性

事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。

a. 可能性はない
b. 可能性はある

a

評価の理由

事業終了のため、可能性はありません。

改善 (Action)

今後の事業の方向性

方向性区分

方向性

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性

I. 現状のまま継続
II. 見直し・改善のうえ継続
III. 事業終了

III

事業は終了するものの、街のみどりを楽しみながら歩くことを習慣づけ、みどりや地元に対する愛着心醸成や健康寿命・健康増進の延伸に繋げるため、引き続き既存イベントなどと連携を行い、お散歩コースの活用を促していきます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	05	区役所庁舎エコ化事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691600		まちづくり推進部総務課			伊藤	65111

事業の概要										
事業の概要		庁舎の省エネルギー化（照明設備のLED化および遮熱フィルムの貼付）を推進することで、市民への省エネ意識を啓発するとともに、快適な庁舎利用及びサービス向上を行います。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	区役所サービス向上事業					
		—	—							
地域の課題と現状		庁舎における節電対策が求められており、電力使用の大部分を占める照明について対策が必要となっています。								
予決算 （単位：千円）	財源内訳	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
		事業費	2,126	1,858	2,074	832	3,092	2,987		
		国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
		市債	0	0	0	0	0	0		
		その他特財	0	0	0	0	0	0		
		一般財源	2,126	1,858	2,074	832	3,092	2,987		

計画 (Plan)	
事業の目的	来庁者が省エネに関心を持っていただくのと同時に、より快適に庁舎を利用していただくようにします。
今年度の事業の取組内容	宮前市民館の一部をLED化します。

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	宮前市民館の事務室および宮前図書館の一部についてLED化しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1			目標					
				実績					
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		令和14年度に、現在の市民館・図書館が鷺沼駅前に移転する予定です。 その後、令和18年度に宮前区役所も移転する予定です。	
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) 年度	☐ 今後実施(年度から)
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		移転を踏まえ適切に対応していきます。	

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	庁舎の省エネルギー化を推進し、また、LED化を行い照度が向上することで快適な庁舎利用サービスにつながっていると考えています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区役所の照明による消費電力はLED化により、事業開始(平成22年度)から50%削減、向丘出張所の照明による消費電力はLED化実施開始(平成31年)から2%削減されています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	LED照明機器の性能向上や価格の低下等により、より効果的に事業を進められる可能性があります。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	照明のLED化により大幅な消費電力及びCO2の削減が実現できるため、適切な仕様や時期を検討しつつ、事業を継続することが適切であると考えています。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	10	みやまろピーコンサート開催事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691700		宮前区役所まちづくり推進部地域振興課			竹原	65358

事業の概要										
事業の概要		区民に親しまれる区役所をめざして、区役所2階ロビーまたは区内の行政施設で、質の高い様々なジャンルの音楽を提供するコンサートを行う。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	区役所サービス向上事業			
		平成5年度		—						
地域の課題と現状		市民にとって区役所等の行政施設は必要な各種手続き等を行う場所となっており、親しみも希薄な状況にあります。区役所に対するイメージアップを図り、区民の行政に対する意識や地域への関心等の向上へつなげます。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	1,562	1,100	1,562	1,496	1,515	1,100			
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
		市債	0	0	0	0	0	0		
		その他特財	0	0	0	0	0	0		
		一般財源	1,562	1,100	1,562	1,496	1,515	1,100		

計画 (Plan)	
事業の目的	主に区役所来庁者の事務手続き待ち時間等を音楽演奏によって潤いのあるひと時としていただくため、区民サービスの一環として原則ランチタイムコンサートとして開催します。音楽を通じて、行政施設に対する親近感を高めるとともに、地域コミュニティの拠点としての機能強化を図り、区民の憩いの場、交流の場として、気軽に、身近に上質な音楽と接することができるよう文化意識の向上につなげていきます。
今年度の事業の取組内容	毎月1回(4月、3月を除く年間10回)区役所2階ロビー等において、「みやまろピーコンサート」を開催します。今年度は土曜開庁日にも開催し、提供する音楽は上質で季節に応じた、また、幅広いジャンルのプロ又はそれに準ずる演奏者とする事で、コンサートの質を担保し、来場者の増加や区民の満足度を高めます。

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	当初の予定どおり、5月から2月までの年間10回開催しました。（参加人数全10回 1, 140人）								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標	みやまえロビーコンサート来場者数	目標	500	500	500	500	
				実績	548	1400	1140		
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)	
事業を取り巻く社会環境の変化	音楽のライブ演奏による潤いのあるひと時を過ごすことは、市民生活の中で貴重な時間であり、また、区民サービスの一環としても区民から高い評価を得ている。今後も行政施設に対する親近感を高めるとともに、区民の憩いの場、交流の場として充実させてまいります。
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 平成21年度 □ 今後実施(年度から)
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	より上質で幅広いジャンルの音楽を区民に提供するため委託仕様書内容を精査しました。

評価項目				評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか			a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	音楽のライブ演奏による潤いのあるひと時を過ごすことは、市民生活の中で貴重な時間であり、また、区民サービスの一環としても区民から高い評価を得ている。			
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか			a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	来場者数は毎回安定した実績を得ており、非常に高い評価を得ている。			
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。			a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	区民から高い評価を得ている事業のため、委託により事業を継続していく必要がある。			

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	区民サービスとして区民から高い評価を得ており、企画内容の充実に向けて事業を継続してまいります。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	20	バリアフリー推進事業費			
担 当			所 属 コー ド		所 属 名		担 当 者	連 絡 先	
			691600		まちづくり推進部総務課		伊藤	65111	

事業の概要

事業の概要

●平成15年度から地域課題対応事業にて事業を開始しました。
●区役所・市民館の間にある市民広場は、転倒等による事故が発生する可能性があるため、破損や剥がれづらく、滑りづらい材質の路面材に改修することにより安全・安心に庁舎等を利用できることを目的とします。

実施期間

事業開始年度

事業終了年度

予算中事業

区役所サービス向上事業

地域の課題と現状

区役所・市民館の間にある市民広場は、築後40年が経ち、古いタイルは滑りやすく、転倒等による事故が発生する可能性があります。

予決算
(単位:千円)

年度

R04年度

R05年度

R06年度

R07年度

事業費	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	1,961	1,802	2,500	2,442	2,500	528		
国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
市債	0	0	0	0	0	0		
その他特財	0	0	0	0	0	0		
一般財源	1,961	1,802	2,500	2,442	2,500	528		

計画 (Plan)

事業の目的

市民広場利用者が安全・安心に庁舎等を利用出来ることを目的とします。

今年度の事業の取組内容

市民広場の一部を破損や剥がれづらく、滑りづらい材質の路面材に改修します。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度

3

1. 目標を大きく上回って達成
2. 目標を上回って達成
3. ほぼ目標どおり
4. 目標を下回った
5. 目標を大きく下回った

取組内容の実績等

区役所・市民館の間にある市民広場タイルを一部改修しました。

数値で把握することが可能な取組

指標分類	指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
1	目標						
	実績						
	2	目標					
		実績					
3	目標						
	実績						
4	目標						
	実績						

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化

令和14年度に、現在の市民館・図書館が鷺沼駅前に移転する予定です。
その後、令和18年度に宮前区役所も移転する予定です。

事業の見直し・改善内容

☐ 実施 (直近) 年度 ☐ 今後実施(年度から)

具体的な見直し・改善内容
※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載

市民館・図書館、区役所の移転を踏まえ、適切に対応を行います。

評価項目

評 価

必要性

事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか

a. 薄れていない
b. 薄れている

a

有効性

活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか

a. 上がっている
b. 上がっていない

a

効率性

事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。

a. 可能性はない
b. 可能性はある

b

改善 (Action)

今後の事業の方向性

方向性区分

方向性

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性

I. 現状のまま継続
II. 見直し・改善のうえ継続
III. 事業終了

II

取組みの見直し(施工方法、施工箇所、仕様の変等)を検討しつつ、事業を継続することが適切であると考えています。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	25	窓口サービス向上事業			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			693300		区民サービス部区民課			鶴	65237

事業の概要

事業の概要		来庁者が区役所で過不足なく必要なサービスの提供を受けることができ、かつ快適に利用していただくため、接遇研修会の実施によって職員の質の向上を図ります。またサービス向上のためのワーキングチームを結成し、窓口サービスについての施策検討を行います。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		区役所サービス向上事業	
		—		—					
地域の課題と現状		区役所で行う手続き等については、年々その取扱いが細分化されており、窓口で案内を行う職員の質の向上が必須となっています。また、窓口で快適に過ごしていただく環境の最適化も、必要なものと考えます。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	149	131	155	139	150	134		
	財源内訳								
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0	0	0		
	その他特財	0	0	0	0	0	0		
一般財源	149	131	155	139	150	134			

計画 (Plan)	
事業の目的	来庁者が、「窓口利用後にいかに気持ちよく後にしてもらえるか」の考えをもとに、①「接客サービス」、②「待合スペースや窓口の環境整備」の向上を図ります。
今年度の事業の取組内容	●転入者への各種手続き案内チラシの作成及び配布 ●接遇研修会等の実施 ●ワーキングチームによる施策

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	ほぼ目標どおり達成できました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	活動指標	転入者への各種手続き案内チラシの作成及び配布	目標	100	100	100		%
				実績	100	100	100		
	2	活動指標	接遇研修会等の実施	目標	2	2	2		回
				実績	2	2	2		
	3	活動指標	若手職員による「ワーキングチーム」の打合せ	目標	18	17	17		回
				実績	18	17	17		
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		窓口で求められるサービスの質は、年々より高いものを求められる傾向にあります。		
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 年度 □ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		緑化フェアに合わせ、待合ロビーにシンボルツリーと木製ベンチを設置 ペーパーレス化の一環として、窓口配布物の一部二次元コード化 庁舎内案内表示の改良と職員向けウェルカムセット(宮前区役所で初めて業務に従事する職員用)の更新		

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	窓口サービスのより良い質への向上は、継続的に求められる状況にあります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	目標で設定した活動指標の設定値を達成しており、成果があったと考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	ワーキングチームでの討論等により、今後もより良いサービスを提供するための改善を行っていきます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	「来庁者にいかに満足してもらえるか」という窓口サービスの向上については、常に考えていかなければならない課題であり、そのための環境整備は必須事項であると言えます。今後も現状のサービスを維持しながら、さらに質の高いサービスの提供を目指して取り組みの強化を図ってまいります。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	30	区役所サービス向上推進事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691600		まちづくり推進部総務課			伊藤	65111

事業の概要										
事業の概要		●窓サッシ、窓ガラス改修・トイレ洋式化(1カ所)を実施し、来庁者にとって安全で快適な庁舎にします。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	区役所サービス向上事業			
		—		—						
地域の課題と現状		震災等で窓ガラスが破損し破片が飛散した場合、ガラス付近を通りかかった利用者が被害を受ける恐れがあります。また、夏場は日光が入り込むことによる熱及び窓サッシ不具合による開閉不良により換気が出来ないことによる庁舎環境の悪化等の問題があります。区役所トイレについては2階以外の各階に和式便器が残っており、和式便器を使用することが難しい利用者が待たされる状況となっています。								
予決算 (単位:千円)	財源内訳	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	2,350	1,899	2,806	2,782	2,746	118		
		国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
		市債	0	0	0	0	0	0		
		その他特財	250	250	200	200	0	0		
		一般財源	2,100	1,649	2,606	2,582	2,746	118		

計画 (Plan)	
事業の目的	来庁者にとって安全で快適な庁舎にします。
今年度の事業の取組内容	(1)区役所南側の窓サッシ及び窓ガラスについて改修を実施します。(2)区役所4階女子トイレについて、和式便座1基を洋式便座へ改修します。

実施結果（Do）										
上記取組内容に対する達成度	5		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	担当者の長期休暇による人員不足や、庁舎の漏水不具合など市民の安全に係る緊急工事を優先したため、本事業において当初予定していた改修を実施できませんでした。									
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1				目標					
					実績					
	2				目標					
					実績					
	3				目標					
					実績					
	4				目標					
					実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		令和14年度に、現在の市民館・図書館が鷺沼駅前に移転する予定です。 その後、令和18年度に宮前区役所も移転する予定です。			
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) 年度 ☐ 今後実施(年度から)			
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		市民館・図書館、区役所の移転を踏まえ、適切に対応を行います。			

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	すべての来庁者が快適で安心安全な庁舎利用が出来るための区役所サービス向上事業は必要とされています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	事業を実施した部分については、以前より来庁者にとって快適で安心安全な場所になっています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	施設の劣化状況や来庁者及び職員の意見を参考に、取組みの見直し(追加等)を検討することで、庁舎がより快適で安心安全な場所になる可能性があります。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	施設の劣化状況や来庁者及び職員の意見を参考に、取組みの見直し(追加等)を検討します。